

入 支 出				備 考
貨 方		合 計	差引殘高	
前期越高	當 期			
円	円	円	円	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	

借 方				總 收	
前期越高	當 期	合 計	差引殘高	摘 要	
円	円	円	円	(前 葉 締 高)	
0	0	0	0	營業用家屋	
0	0	0	0	營業用具什器	
				損 益 勘 定	
				利息金費益益料酬費料稅費益損費々々	
				利利利增損損	
				債券割券買銀	
	0	0	0	債券買當	
	0	0	0	債券數定及繕家	
	0	0	0	債券當	
	0	0	0	債券數定及繕家	
	0	0	0	債券當	
	0	0	0	債券數定及繕家	
	0	0	0	債券當	
	0	0	0	債券數定及繕家	
	0	0	0	債券當	
	0	0	0	債券數定及繕家	
0	0	0	0	雜 勘 定	
				何 々	
				(進 次 締 高)	

明治何年何月何日總勘定表

資 産 ノ 部		負 債 ノ 部	
摘 要	金 額	摘 要	金 額
金 庫 金 高 券 金 所 屋 器 々 定	00000000	資 損 配 勘 前 政 損 何	00000000
木 付 付 受 證 ケ ケ 地 家 什 勘	00000000	本 備 均 準 備 均 準 備 均 準 備 均 準	00000000
濟 遠 還 券 引 證 ケ ケ 地 家 什 勘	00000000	補 平 均 準 備 均 準 備 均 準 備 均 準	00000000
未 償 還 債 預 預 用 用 勘	00000000	失 常 業 期 府 益	00000000
拂 年 定 農 國 地 當 定 營 營 何 金	00000000		00000000
合 計	0	合 計	0

總 收

借 方				摘 要
前期越高	當 期	合 計	差引殘高	
円	円	円	円	(前 業 締 高)
0	0	0	0	何 々 々
0	0	0	0	何 々 々
0	0	0	0	何 々 々
0	0	0	0	金 銀 勘 定
0	0	0	0	金 銀 銅 紙 兌 換 小 切 手
0	0	0	0	貨 貨 幣 行 券
0	0	0	0	若 干 同 同 同 同
0	0	0	0	總 計

貸出金現在高表

摘要	無 抵 當		有 抵 當		合 計	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額
年賦償還貸付金		円		円		円
公農工	0	0	0	0	0	0
公農工	0	0	0	0	0	0
公農工	0	0	0	0	0	0
小計	0	0	0	0	0	0
定期償還貸付金						
公農工	0	0	0	0	0	0
公農工	0	0	0	0	0	0
公農工	0	0	0	0	0	0
小計	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0

資本金平均積數表

拂込年月日	拂込金額	月數	積數	平均積數
前期	円	六箇月	円	円
明治何年何月日	0	何箇月	0	0
越何年何月日	0	何箇月	0	0
高拂込	0	何箇月	0	0
何月日	0	何箇月	0	0
何月日	0	何箇月	0	0
何月日	0	何箇月	0	0
何月日	0	何箇月	0	0
何月日	0	何箇月	0	0
合計	0		0	0

所有有價證券現在高表

摘要	額	面	價	格	額面百圓 ニ對スル 平均價格
農工債券					
年何分利付農工債券	0		0		0
年何分利付農工債券	0		0		0
小計	0		0		0
國債證券					
年何分利付整理公債證券	0		0		0
年何分利付事業公債證券	0		0		0
小計	0		0		0
地方債證券					
年何分利付何府債證券	0		0		0
年何分利付何縣債證券	0		0		0
小計	0		0		0
合計	0		0		0

勸業債券明細表

摘要	前期越高	當發行期高	計	當償還期高	差引殘高
年何分利付債券	0	0	0	0	0
年何分利付債券	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0

雜勘定明細表

借		貸	
摘要	金額	摘要	金額
何々ニ付假拂何々 ノ事由ニ付未精算 何々ニ付假拂何々 ノ事由ニ付未精算 何々支出金何々ノ 事由ニ付未精算 何	円 0 0 0 0 0	何々ニ付假受何々 ニ付未精算 何々ニ付收入何々 ニ付未精算 何	円 0 0 0
合計	0	合計	0

預金現在高表

摘要	金額
日本銀行 無利子當座預金 有利子定期預金 何箇月同 何箇月同	円 0 0 0 0 0
合計	0

保護預リ物件現在高表

摘要	数量	前 越	期 高	當 期 預 高	計	當 期 返 却	差 殘	引 高	見 價	積 格
地 金 銀										円
金 地 金	数量		0	0	0	0	0	0	0	0
銀 地 金	数量		0	0	0	0	0	0	0	0
金 銀 混 合 地 金	数量		0	0	0	0	0	0	0	0
計			0	0	0	0	0	0	0	0
有 價 證 券										
何 分 利 付 何 々 公	円		0	0	0	0	0	0	0	0
債 證 書	円		0	0	0	0	0	0	0	0
何 分 利 付 何 々 公	円		0	0	0	0	0	0	0	0
債 證 書	円		0	0	0	0	0	0	0	0
計			0	0	0	0	0	0	0	0
當 行 株 券										
重 役 所 有 株 券	円		0	0	0	0	0	0	0	0
何	円		0	0	0	0	0	0	0	0
計			0	0	0	0	0	0	0	0
										見取價額合計 0

引揚抵當物件價格現在高表

摘要	前期越 高	當 引 揚	期 高	計	當 賣 却	期 高	差 引 殘 高
地 建 何	円		0	0	0	0	0
所 物 々	円		0	0	0	0	0
合 計	0		0	0	0	0	0

自明治何年何月至同何年何月收入支出計算書面之通相違
無之候也

明治何年月日

株式會社日本勸業銀行總裁姓名印

會計檢査院長宛

五九ノ三〇

●株式會社沖繩縣農工銀行ニ於テ證明スヘキ
收入支出計算書式ノ件

明治三十四年十月
會計檢査院達第六號

明治二十三年十二月二十八日本院達第三號政府ヨリ補助金又ハ特約保證ヲ受クル各會社收入支出決算證明規程
第一條ニ據リ株式會社沖繩縣農工銀行ヨリ證明スヘキ收入支出計算書式ハ明治三十一年七月十日本院達
第二號ニ準據スヘシ

● 株式會社日本興業銀行ノ證明スヘキ收入支出

計算書式

明治三十五年七月
會計検査院達第三號

明治二十三年^{十二月十八日}本院達第三號政府ヨリ補助金又ハ特約保證ヲ受クル各會社收入支出決算證明規程
第一條ニ據リ株式會社日本興業銀行ヨリ證明スヘキ收入支出計算書式ハ明治三十一年三月十七日本院
達第二號ニ準據スヘシ

●政府ヨリ現金前渡ヲ受ケタル銀行仕拂證明

規程 明治三十二年五月
會計検査院總第三號

改正 明治三十五年八月
達第五號

政府ヨリ現金前渡ヲ受ケタル銀行仕拂證明規程左ノ通定ム

政府ヨリ現金前渡ヲ受ケタル銀行仕拂證明規程

第一條 明治二十三年勅令第二十號及同年勅令第六十八號ニ依リ現金前渡ヲ受ケタル銀行ノ調製スヘキ仕拂計算書ハ別記書式ニ據ルヘシ

仕拂計算書ノ提出期限ハ翌月十五日マテトス

第二條 左ノ事項ハ仕拂計算書ノ備考ニ記載スヘシ但事ノ複雑ニ涉ルモノハ説明書ヲ添付スヘシ

一 元受高科目ノ更正ヲ爲シタルモノアルトキハ其金額事由

二 誤拂過渡ノ戻入ニ由リ仕拂額ヲ減シタルモノ若クハ返納金ヲ金庫ニ納付シタルモノアルトキハ其金額事由

三 大藏大臣ヨリ辨償ヲ命セラレタルモノ若クハ辨償ヲ爲シタルモノアルトキハ其金額事由

四 整理公債條例第十四條ニ依リ時効期間ニ異動ヲ生シタルモノアルトキハ其事由

五 外國貨幣ヲ以テ仕拂ヒタルモノハ其爲替相場

六 仕拂ヲ要セザリシ端金ハ其金額

七 紙幣交換ノ後偽造若クハ變造タルコトヲ發見シタルトキハ其種類枚數及金額

第三條 仕拂ノ證據トシテ提出スヘキモノ左ノ如シ

一 内國債元利金ノ仕拂ハ主任官吏ノ保證アル證券及利賦札還納表

- 二 國債證券ノ買入銷却ヲ爲シタルモノハ大藏大臣ノ令達謄本及正當受取人ノ領收證書
 - 三 外國債元利金ノ仕拂ハ仕拂地領事ノ保證アル銷却表
 - 四 整理公債條例第二十條第二十五條及大藏省證券條例第十一條ニ依リ元利金ヲ仕拂ヒタルモノハ其事由ヲ記載シタル正當受取人ノ領收證書
 - 五 預金保管金及供託金利子ノ仕拂ハ正當受取人ノ領收證書
 - 六 紙幣交換ノ仕拂ハ主任官吏ノ保證アル還納表
 - 七 返納金ハ金庫ノ領收證書
 - 第四條 證憑書ハ各科目ニ區分編纂シ其金額仕拂期及紙數ヲ表紙ニ記載スヘシ
 - 第五條 下検査ヲ執行スル官吏ニ於テ仕拂計算書及證憑書ヲ受ケタルトキハ十五日以内ニ下検査ヲ執行シ之ヲ提出スヘシ
 - 第六條 下検査書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
 - 一 仕拂計算書ト出納帳簿トノ符合及殘額現存ノ保證
 - 二 事實ニ適合セスト認定セシ事項ノ金額事由
 - 第七條 審理書及答辨書ハ下検査ヲ執行スル官吏ヲ經由スヘシ
- 附則
- 第八條 本規程ハ明治三十二年度ヨリ施行ス
- 國債元利金仕拂證明規程及政府紙幣交換基金領店銀行紙幣交換基金仕拂證明規程ハ明治三十一年度限リ廢止ス
- (別記)

一 計算書ヲ受授スル者ハ其年月日ヲ表紙ニ記載スヘシ
 二 計算書ノ用紙ハ摺引厚紙ニシテ折リ用ヒ左側ニ曲尺一寸餘ノ留代ヲ在スヘシ
 三 計算書ハ改竄塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ爲シタルトキハ二輪ヲ積疊シ主任者之ニ捺印スヘシ

明 治 何 年 度
 明 治 何 年 何 月
 國 債
 仕 拂 計 算 書

證憑書 何冊
 何々 何冊

銀 行 名

前月領	月収額	迄額	本領	月収額	本返額	月納額	計	摘要	
円	圓	圓	円	圓	円	圓	円	圓	圓
0	0	0	0	0	0	0	0	0	債 公 債
0	0	0	0	0	0	0	0	0	元 何 月 金 籤
0	0	0	0	0	0	0	0	0	何 年 何 月 買 入 子 却
0	0	0	0	0	0	0	0	0	何 年 何 月 何 月 渡
0	0	0	0	0	0	0	0	0	何 年 何 月 何 月 渡 計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	五分利付金緑公債
0	0	0	0	0	0	0	0	0	元 何 月 金 籤
0	0	0	0	0	0	0	0	0	何 年 何 月 何 月 渡
0	0	0	0	0	0	0	0	0	何 年 何 月 何 月 渡 計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	預 金 利 子
0	0	0	0	0	0	0	0	0	預 金 利 子
0	0	0	0	0	0	0	0	0	計 合 計

前月仕	月拂額	迄額	本仕	月拂額	本回額	月収額	計	残額	備考
円	圓	圓	円	圓	円	圓	円	圓	円
0	0	0	0	0	0	0	0	0	○政府紙幣交換基金金銀店銀行紙幣交換基金及營業滿期國立銀行紙幣交換基金仕拂計算書ハ此書式ニ準シ
0	0	0	0	0	0	0	0	0	○返納金ヲ金庫ニ拂込ミタルモノハ本月分返納額ノ區ニ掲記シ領收額ヨリ控除スヘシ
0	0	0	0	0	0	0	0	0	○返納金ヲ返戻金ヲ受取人ヨリ領收シタルトキハ本月分同收額ノ區ニ掲記シ仕拂額ヨリ控除スヘシ
0	0	0	0	0	0	0	0	0	○外國債ノ仕拂額ヲ取扱フ銀行ハ前月迄仕拂額及本月分仕拂額ノ區ヲ(英)貨及(米)貨及(通貨)ノ區ニ分ツヘシ
0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	

摘要	時効完成期	仕拂確定額		仕拂済額	
		円	銭	円	銭
整理公債					
元 何年何月何日 當償子	何年何月何日	0	0	0	0
何年何月何日 買入子	何年何月何日	0	0	0	0
何年何月何日 渡渡計	何年何月何日	0	0	0	0
五分利付金祿公債					
元 何年何月何日 當子	何年何月何日	0	0	0	0
何年何月何日 渡計	何年何月何日	0	0	0	0
預金利子					
預金 何年何月何日		0	0	0	0
利子 何年何月何日		0	0	0	0
合計		0	0	0	0

差額	時効完成=依 ル仕拂不要額		仕拂未済額		備考
	円	銭	円	銭	
0	0	0	0	0	○本表ハ毎年度最終國債仕拂計其香ニ添付スヘシ ○仕拂確定額ノ區ニハ既往年度ニ於ケル仕拂未済額及本年度中仕拂フヘキ額ヲ掲記スヘシ ○差額ノ區ニハ額面ニ對スル買入銷却ノ差及仕拂ヲ要セザリシ端金ヲ掲記スヘシ
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	

明治何年度何年何月仕拂證明候也

何銀行總裁(頭取)氏名印

會計検査院長宛

年 月 日

● 政府ヨリ補助金又ハ特約保證ヲ受クル各會社收入
支出決算證明規程

改正 ● 明治二十七年七月
送第二十四號

明治二十三年十二月
會計検査院第三號

政府ヨリ補助金又ハ特約保證ヲ受クル各會社收入支出決算證明規程左ノ通定ム

政府ヨリ補助金又ハ特約保證ヲ受クル各會社收入支出決算證明規程

第一條 政府ヨリ補助金又ハ特約保證ヲ受クル各會社ハ會計検査院ノ検査判決ヲ受クル爲メ別紙書式

ニ據リ收入支出計算書ヲ調製シ每期經過後三箇月以内ニ之ヲ其主管廳ニ送付スヘシ

第二條 收入支出計算書ニハ左ノ書類ヲ添付スヘシ

- 一 收入支出豫算書
- 二 每期實際報告書
- 三 命令書ノ定ムル所ニ依リ特ニ主管廳ノ認可ヲ經若クハ更正ヲ命セラレタル事項アルトキハ其書類

第三條 收入支出ニ關スル證憑書類ハ收入報告書領收證書契約書其他收支ノ事實ヲ確認スヘキ書類ト

ス但其提出ヲ要スルモノハ會計検査院特ニ之ヲ指定スヘシ

第四條 主管廳ノ下検査官吏ハ收入支出計算書ノ下検査ヲ執行シ其受領ノ日ヨリ二十五日以内ニ其廳

ヲ發シ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

第五條 下検査書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 計算書及附屬書類ノ件名冊數
- 二 計算書各科目ノ金額ト帳簿及證憑書ノ金額ト對查ノ頗末但下検査官吏ニ於テ事實執行シ難キト

- キハ他ノ官吏ヲシテ之ヲ調査セシメ其調査ヲ以テスルコトヲ得
- 三 (削除)
- 四 事實ニ適合セスト認定シタル事項ノ事由金額
- 五 營業上不適當ト認メタル事項
- 第六條 會計検査院ヨリ各會社ニ對スル審理書及其報告書ハ總テ下検査官吏ヲ經由スヘシ
(計算書書式ハ別ニ頒ツ)

●日本鐵道株式會社興業費ニ係ル證明ノ件

明治三十六年四月
會計検査院第三號

日本鐵道株式會社

其社證明ノ計算書中興業費ニ係ル分ハ自今提出ニ及ハス
右相達ス

●第十二節 公共事業費證明

●政府ヨリ補助金ヲ受クル公共事業費決算證明規程

明治二十三年十二月
會計検査院連第四號

改正

●明治二十七年七月
連第二十四號

政府ヨリ補助金ヲ受クル公共事業費決算證明規程左ノ通定ム

政府ヨリ補助金ヲ受クル公共事業費決算證明規程

第一條 政府ヨリ補助金ヲ受クル北海道廳府縣郡區市町村ハ會計検査院ノ検査判決ヲ受クル爲メ左ノ書式ニ據リ毎年度受拂計算書ヲ調製シ年度經過後九箇月以内ニ之ヲ其主管廳ニ送付スヘシ

第二條 受拂計算書ニハ地方議會ニ報告シタル補助金ヲ受クル事業ニ關スル收支決算報告書ヲ添付スヘシ

第三條 受拂計算書ニハ一事項毎ニ其費額ヲ大別掲上シ尙ホ必要ノ場合ニ於テハ適宜之ヲ細分シ其性質ヲ明示スヘシ

第四條 受拂ニ關スル證憑書類ハ領收證書契約書及工事ノ竣功明細書其ノ他受拂ノ事實ヲ確認スヘキ書類トス但其ノ提出ヲ要スルモノハ會計検査院特ニ之ヲ指定スヘシ

第五條 主管廳ノ下検査官吏ハ計算書ノ下検査ヲ執行シ其受領ノ日ヨリ二十五日以内ニ其廳ヲ發シ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

第六條 下検査書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
一 計算書及附屬書類ノ件名册數

- 二 計算書各科目ノ金額ト帳簿及證憑書ト對查ノ顛末但下検査官吏ニ於テ事實執行シ難キトキハ他ノ官吏ヲシテ之ヲ調査セシメ其調査ヲ以テスルコトヲ得
 - 三 (削除)
 - 四 事實ニ適合セスト認定シタル事項ノ事由金額
- 第七條 會計検査院ヨリ各證明者ニ對スル審理書及其報告書ハ總テ下検査官吏ヲ經由スヘシ

三二一 凡例
 計算書ノ受授ハ其年月日ヲ各其表紙ニ記載スヘシ
 計算書ノ用紙ハ印刷製紙ニシテ其紙質ノ堅牢ナルモノヲ用ニヘシ
 計算書ハ改竄捺印ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ要スルトキハ二線ヲ横シ主任者之ニ捺印スヘシ

明 治 何 年 度

何 々 費 何 々 費

受 拂 計 算 書

應 名

摘要	受 入									
	前年度繰越		本 年 度						何 々	
	円	銭	國庫補助		地方費		何 々		円	銭
費々々	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費々々	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費々々	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

分 計	高		拂出高	翌年度へ繰越高	備 考
	合 計				
	円	銭			
計	0	0	0	0	一 數年ヲ期シテ竣功スヘキ工事其他ノ事業ニシテ繼續費トシテ繰越ヲ定メタルモノハ其總額及前年度迄ニ支拂済ノ金額ヲ備考ニ掲クヘシ
	0	0	0	0	
	0	0	0	0	
	0	0	0	0	
	0	0	0	0	

明治何年度何々費受拂計算書面ノ通相違無之候也

明治何年何月何日

主管者官職氏名印

會計検査院長宛

第十三節 郵便爲替貯金證明

●郵便爲替貯金郵便取立金出納計算證明規程

明治三十五年十一月
會計検査院第六號

郵便爲替貯金郵便取立金出納計算證明規程左ノ通り定ム

郵便爲替貯金郵便取立金出納計算證明規程

第一條 郵便爲替貯金出納官吏及出納員ノ證明スヘキ計算書ニシテ郵便爲替貯金管理所及臺灣總督府

民政部通信局出納ニ係ルモノハ第一號書式他ノ各局所出納ニ係ルモノハ第二號書式ニ據ルヘシ

計算書ノ提出期限ハ年度經過後一箇月以内又交替ヲ爲シタルトキハ其交替後三十日以内トス

第二條 身元保證金ヲ納メタル分任出納官吏及出納員交替ノトキハ特ニ其計算書ヲ調製シ證明ヲ爲ス

コトヲ得但此場合ニ在リテハ主任出納官吏ヲ經由スヘシ

第三條 左ノ事項ハ出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ

一 會計規則第八十八條ニヨリ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其金額事由

二 殘高ニシテ後任官吏又ハ他ニ引繼キタルモノアルトキハ其事由

第四條 出納計算書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一 會計規則第九十三條ニ依レル檢定書

二 歳出ヨリ受入タルモノアルトキハ其事由ヲ詳記シタル明細書

三 歳入ヘ納付シタルモノアルトキハ其事由ヲ詳記シタル明細書

第五條 下検査ヲ執行スル官吏ニ於テ出納計算書ヲ受ケタルトキハ十五日以内ニ下検査ヲ執行シ之ヲ

提出スヘシ

第六條 下検査書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 出納計算書及附属書類ノ件名及册數

二 事實ニ適合セスト認定シタル事項ノ金額及事由

第七條 審理書及答辨書ハ下検査ヲ執行スル官吏ヲ經由スヘシ

附則

第八條 本規程ハ明治三十五年度分ヨリ施行ス

郵便爲替金郵便貯金出納計算證明規程ハ明治三十四年度分限り廢止ス

第一號書式

三二一 計算書ヲ受授スル者ハ其年月日ヲ本書ニ記載スヘシ
用紙ハ堅牢ナルモノヲ用ユヘシ
計算書ハ改竄捺シテ捺ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ爲シタルトキハ二線ヲ横畫シ主任官吏之ニ捺印スヘシ

書第二式號

明治 年度(自 月 日 至 月 日) 郵便爲替貯金取立金出納計算書

摘 要	受 高		摘 要	拂 高		備 考
	円	銭		円	銭	
過超金受領高 資金受領高 立替時 臨受計高 爲替振出高 貯金預受高 取立金受高 何々	0	0	過超金納付高 資金交付高 立替時 臨付高 爲替拂計高 貯金還付高 取立金還付高 何々	0	0	(凡例前ニ同シ)
△	0	0	△	0	0	
△	0	0	△	0	0	
△	0	0	△	0	0	
合計	0	0	合計	0	0	殘高區分 主任出納官吏官氏名 0 分任出納官吏官氏名 0 出納員職官氏名 0
合越	0	0	合越	0	0	
總計	0	0	總計	0	0	

身 元 保 證 金

主任出納官吏官氏名 0円
分任出納官吏官氏名 0円
出納員職官氏名 0円

明治 年度出納計算證明候也

職 官 氏 名 印

會計検査院長宛

年 月 日

明治 年度(自 月 日 至 月 日) 郵便爲替貯金取立金出納計算書

摘 要	受 高		摘 要	拂 高		備 考
	円	銭		円	銭	
未交換金券交換高 中央金庫ヨリ戻入 高出ヨリ受入高 何々	0	0	中央金庫へ預入高 金庫へ供託高 歳入へ納付高 何々	0	0	殘高區分 主任出納官吏官氏名 0 分任出納官吏官氏名 0
△	0	0	△	0	0	
△	0	0	△	0	0	
△	0	0	△	0	0	
計越	0	0	計越	0	0	殘高區分 主任出納官吏官氏名 0 分任出納官吏官氏名 0
合計	0	0	合計	0	0	
合計	0	0	合計	0	0	

身 元 保 證 金

主任出納官吏官氏名 0円
分任出納官吏官氏名 0円

明治 年度出納計算證明候也

職 官 氏 名 印

會計検査院長宛

年 月 日

●郵便電信電話官署現金出納計算證明規程

明治三十七年二月
會計検査院発第一號

郵便電信電話官署現金出納計算證明規程左ノ通り定ム

郵便、電信、電話官署現金出納計算證明規程

第一條 郵便、電信、電話官署ニ於テ歳入金、歳出金並歳入歳出外現金ノ交互振替及繰替受拂ヲ爲シタルモノ、現金出納計算證明ハ本規程ニ據ルヘシ

第二條 出納官吏及出納員ノ證明スヘキ現金出納計算書ハ第一號書式ニ據リ各別ニ調製スヘシ但出納官吏所在局所在勤出納員ノ計算ハ其出納官吏ノ證明ニ併算スルモノトス

現金出納計算書ノ提出期限ハ年度經過後一箇月以内又交替ヲ爲シタルトキハ其交替後三十日以内トス

第三條 左ノ事項ハ現金出納計算書ノ備考ニ記載スヘシ

一 會計規則第八十八條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其金額事由

二 殘高ニシテ後任官吏又ハ他ニ引繼キタルモノアルトキハ其事由

第四條 現金出納計算書ニハ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一 會計規則第九十三條ニ依レル檢定書

二 歳出ヨリ郵便爲替郵便貯金郵便取立金特別會計へ受入レタルモノアルトキハ其事由ヲ詳記シタル明細書

三 郵便爲替郵便貯金郵便取立金特別會計ヨリ歳入へ納入シタルモノアルトキハ其事由ヲ詳記シタル明細書

四 年度末ヲ以テ現金出納計算書ヲ提出スル主任出納官吏ハ第二號及第三號ノ書式ニ據リ調製シタル

ル内譯書

第五條 證憑書トシテ提出スヘキ書類左ノ如シ

一 歳入金ヲ金庫ニ拂込ミタルモノハ其領收證書

二 金庫ニ寄託シタルモノ又ハ供託シタルモノハ當該上官又ハ金庫ノ保證書

第六條 證憑書類ハ所屬年度ニ區分編纂シ其金額紙數ヲ表紙ニ記載スヘシ

第七條 下検査ヲ執行スル官吏ニ於テ現金出納計算書及證憑書類ヲ受ケタルトキハ十五日以内ニ下検査ヲ執行シ之ヲ提出スヘシ

第八條 下検査書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 現金出納計算書ト現金出納簿トノ符合及殘額現存ノ保證

二 事實ニ適合セスト認定シタル事項ノ金額事由

第九條 審理書及答辯書ハ下検査ヲ執行スル官吏ヲ經由スヘシ

附則

第十條 本規程ハ明治三十六年度分ヨリ施行ス

第二號書式甲

計算書ヲ受授スルモノハ其年月日ヲ本書ニ記載スヘシ
用紙ハ堅牢ナルモノヲ用ユヘシ
計算書ハ改竄又ハ塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ爲シタルトキハ二線ヲ横畫シ主任官吏之ニ捺印スヘシ

第三篇 財政 第六章 豫算決算 第十三節 郵便爲替貯金、電信電話官署証明

六七ノ五

明治 年度(自月日)現金出納計算書

摘要		受	高	摘要		拂	高	備	考
<small>(主任出納官更部職別)</small>		月	日	月	日	月	日		
過超金領收高	0	0	0	資金交付高	0	0	0	一萬元保証金ヲ納メタルトキハ其金額ヲ本書ノ末尾ニ記載スヘシ	
中央金庫ヨリ戻入高	0	0	0	金庫預入高	0	0	0		
歳出ヨリ受入高	0	0	0	〜繰替拂高	0	0	0		
歳出繰替拂戻入高	0	0	0	〜繰納付高	0	0	0		
何年度歳入受入高	0	0	0	〜供託高	0	0	0		
何	0	0	0	何	0	0	0		
計	0	0	0	計	0	0	0		
越	0	0	0	残	0	0	0		
合	0	0	0	合	0	0	0		
<small>(主任出納官更部以下各職別)</small>									
資金ノ部				資金ノ部					
過超金受領高	0	0	0	資金交付高	0	0	0		
過資金受領高	0	0	0	過超金納付高	0	0	0		
郵便爲替貯金管理所ヨリ	0	0	0	郵便爲替貯金管理所	0	0	0		
立替金	0	0	0	〜立替金還付高	0	0	0		
証券引換金受入高	0	0	0	臨時拂高	0	0	0		
臨時受	0	0	0						
計	0	0	0	計	0	0	0		
郵便爲替振出高	0	0	0	郵便爲替拂渡高	0	0	0		
外國爲替振出高	0	0	0	外國爲替拂渡高	0	0	0		
振替爲替振出高	0	0	0	振替爲替拂渡高	0	0	0		
郵便取立金受入高	0	0	0	郵便取立金拂渡高	0	0	0		

残高區分
主任出納官吏氏名 00
出納員氏名 00

明治 年度現金出納計算證明候也

摘要		受	高	摘要		拂	高	備	考
<small>(主任出納官更部職別)</small>		月	日	月	日	月	日		
外國取立金受入高	0	0	0	外國取立金受入高	0	0	0	一萬元保証金ヲ納メタルトキハ其金額ヲ本書ノ末尾ニ記載スヘシ	
郵便爲替貯金管理所ヨリ	0	0	0	郵便爲替貯金管理所	0	0	0		
立替金	0	0	0	立替金還付高	0	0	0		
証券引換金受入高	0	0	0	臨時拂高	0	0	0		
臨時受	0	0	0						
計	0	0	0	計	0	0	0		
越	0	0	0	残	0	0	0		
合	0	0	0	合	0	0	0		
<small>(主任出納官更部以下各職別)</small>									
資金ノ部				資金ノ部					
過超金受領高	0	0	0	資金交付高	0	0	0		
過資金受領高	0	0	0	過超金納付高	0	0	0		
郵便爲替貯金管理所ヨリ	0	0	0	郵便爲替貯金管理所	0	0	0		
立替金	0	0	0	〜立替金還付高	0	0	0		
証券引換金受入高	0	0	0	臨時拂高	0	0	0		
臨時受	0	0	0						
計	0	0	0	計	0	0	0		
郵便爲替振出高	0	0	0	郵便爲替拂渡高	0	0	0		
外國爲替振出高	0	0	0	外國爲替拂渡高	0	0	0		
振替爲替振出高	0	0	0	振替爲替拂渡高	0	0	0		
郵便取立金受入高	0	0	0	郵便取立金拂渡高	0	0	0		

明治 年度現金出納計算證明候也
職官氏名印
會計検査院長宛
年 月 日

六七ノ四

第一書式
第一號乙

表否済込拂庫入金入歳

年度	越高		領收高		計		拂込高		殘高		備考
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	
何年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	一歳入ノ過誤納金ヲ拂戻シタルモノアルトキハ歳出拂込高ノ科目ヲ以テ整理スヘキモノヲ除クテ拂込高ノ次位ニ一欄ヲ設ケ之ヲ記載スヘシ 一振替計算ヲ以テ整理シタルモノアルトキハ受拂金額ノ欄ヲ現金及振替ノ二欄ニ区分シ之ヲ記載スヘシ
年度計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	職		官		氏		名		印		
			年		月		日				

第二書式

明治年度

受拂計算内譯書

一歳入歳出及雑部金内譯ハ振替勘定ヲ以テ整理シタルモノアルトキハ各受拂金額ノ欄ヲ現金及振替ノ二欄ニ区分シ之ヲ記載スヘシ

名 處

歳入金領收高内譯

局 所 名	何 年 度		合 計		備 考
	円	銭	円	銭	
何何何	0	0	0	0	一局所ハ歳入ノ徴收事務ヲ分掌スル局所毎ニ區分スヘシ
所局局計	0	0	0	0	
	0	0	0	0	

爲替貯金取立金特別會計内譯

摘 要	受 高		拂 高		残 高		備 考
	円	銭	円	銭	円	銭	
高庫金金拂替替替金金々計	0	0	0	0	0	0	一資金過超金ノ受拂相符合セサルトキハ其事由及金額ヲ備考ニ詳記スヘシ 一拂高ノ受高ヨリ多キトキハ其差額ヲ残高ノ欄ニ朱記スヘシ
金起 受爲爲爲立立貯	0	0	0	0	0	0	
過替 取取	0	0	0	0	0	0	
中央金 時便國替 便國便	0	0	0	0	0	0	
越中資立臨郵外振郵外郵何	0	0	0	0	0	0	

替 繰 金 出 歳

局 所 名	何 年 度							
	越 高		繰 替 高		戻 入 高		残 高	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
何 何 何	0		0		0		0	
所 局 局 計	0		0		0		0	

及 戻 入 高 内 障

備 考	何 年 度							
	越 高		繰 替 高		戻 入 高		残 高	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
一 局所ハ仕命令官所在區等ニ区分スヘシ 一 通關拂等ニヨリ追徴ヲ爲シタルモノアルトキハ(繰入受入高又ハ經費ノ定額ニ戻入スル受入金ノ科目 ナリテ整理スヘキモノヲ除ク)繰替高ノ次位ニ追徴高ノ一欄ヲ設ケ之ヲ記載スヘシ 一 經費ノ定額ニ戻入ヲ要スル繰出金ノ受拂ヲ爲シタルトキハ別ニ一表ヲ製シ本表ニ準シ繰替高ノ欄ヲ受 領高トシ戻入高ノ欄ヲ金庫へ拂込高トシテ之ヲ記載スヘシ 一 繰替高ノ定額ニ戻入ノ欄ヲ設ケ之ヲ記載スヘシ 一 繰替高ノ定額ニ戻入ノ欄ヲ設ケ之ヲ記載スヘシ	0		0		0		0	
	0		0		0		0	
	0		0		0		0	
	0		0		0		0	

雜 部

摘 要	受 高			拂 還付高
	越 高	領收高	計	
	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	
保 證 金				
何局入札保証金	0	0	0	0
何々計	0	0	0	0
豫 納 金				
何局海外電報料豫納金	0	0	0	0
何々計	0	0	0	0
何 々	0	0	0	0
何々計	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

金 内 譯

歳入(振替)	何 々	高 計	残 高	備 考			
					入 替 高	何 々	計
					円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘
0	0	0	0				
0	0	0	0				
0	0	0	0				
0	0	0	0				
0	0	0	0				
0	0	0	0				
0	0	0	0				

第三號書式

明治 年 度

事故金内譯書

本表ハ受拂上生シタル一切ノ過誤及亡失等ニ係ルモノ、内年度内結了セサルモノヲ類別シテ掲載スヘシ
事故金ハ完結ニ從ヒ之ヲ報告スヘシ
受入不足金、過誤拂金及亡失金ノ完結トハ、缺損補填ヲ受ケタルト否トチ同ハス追徴又ハ辨償了了シタルモノ若
クハ官損處分ヲ爲シタルモノナラズ

名 廳

職 官 氏 名 印

年 月 日

摘 要	金 額	備 考
何年度越高		
受 入 不 足 金	0	前年度計金何圓ノ内何圓 ハ本年度ニ於テ完結ニ付 本行ノ通
過 誤 拂 上 ノ 拂 過 剩 金	0	
受 過 受 亡 何	0	
計	0	
合 計	0	
本 年 度 分		
受 入 不 足 金	0	過誤拂金何圓ノ内何圓ハ 受取人ヨリ返納ニ付本行 ノ通
爲替金何局振出何局拂何々ニ付 何	0	
計	0	
過 誤 拂 金	0	
爲替金何局振出何局拂何々ニ付 何	0	
計	0	
受 拂 上 ノ 過 剩 金	0	
何 局 = 於 テ 何 々 々 計	0	
何	0	
計	0	

摘 要	金 額	備 考
亡 失 金		
何 局 = 於 テ 何 々 ノ 際 燒 失	0	
何 局 = 於 テ 何 々 ノ 際 盜 難	0	
何 局 = 於 テ 何 々 ノ 際 紛 失	0	
計	0	
何 々 々 計	0	
何 々 計	0	
合 計	0	

摘要	金額		備考
	円	銭	
何年度越高			
受入不足金	0		前年度計金何圓ノ内何圓ハ本年度ニ於テ完結ニ付本行ノ通
過誤拂上ノ金	0		
受拂上ノ過剩金	0		
合計	0		
何	0		
本年度分受入不足金			過誤拂金何圓ノ内何圓ハ受取人ヨリ返納ニ付本行ノ通
爲替金何局振出何局拂何々ニ付何々計	0		
過誤拂金	0		
爲替金何局振出何局拂何々ニ付何々計	0		
何	0		
受拂上ノ過剩金			
何局ニ於テ何々計	0		
何	0		

摘要	金額		備考
	円	銭	
亡失金			
何局ニ於テ何々ノ際焼失	0		計
何局ニ於テ何々ノ際盜難	0		
何局ニ於テ何々ノ際紛失	0		
何々計	0		
何々計	0		
合計	0		

第七章
收入

印 名 氏 官 職

日 月 年

第三篇 財政

第七章 收入

第一節 歳入徴收官

- 歳入徴收官交替ノトキ金庫へ通知方……………一
- 内務省所管歳入徴收官交替シタルトキ取扱方……………二
- 農商務省所管歳入徴收官交替ノ場合取扱方……………三

第二節 國稅

- 國稅徴收法……………四
- 國稅徴收法施行規則……………五
- 國稅徴收法施行細則……………六
- 國稅徴收法ニ依ル公共團體指定ノ件……………七
- 沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル國稅徴集ニ關スル件……………八
- 沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル物品納ノ國稅現金ニ換算方……………九
- 沖繩縣及小笠原島伊豆七島國稅徴收方……………一〇
- 國稅徴收事務取扱方……………一一

- 鑛業稅及鑛區稅徵收取扱方……………二二
- 國稅徵收事務取扱上諸帳簿及報告書調製方……………二三
- 市町村ニ於テ徵收スヘキ國稅ニ關スル件……………二四
- 市制町村制未施行地ノ國稅徵收事務取扱方……………二五
- 稅金分納及滯納報告後督促狀發布前納付書ニテ納入方……………二六
- 租稅其他ノ缺損額臺帳整理方……………二七
- 第三節 府縣稅
 - 府縣稅徵收ニ關スル件……………一八
 - 北海道地方稅徵收方ノ件……………一九
 - 第四節 帳簿、報告樣式
 - 市町村ニ備フヘキ國稅金徵收簿其他一人別徵收元帳樣式……………二〇
 - 府縣稅滯納處分報告表……………二一
 - 北海道地方費滯納處分報告表調製方……………二二
 - 第五節 關稅及稅外
 - 關稅噸稅及稅關雜收入取扱規程……………二三
 - 諸收入收納取扱規程……………二四

- 葉煙草專賣諸收入ノ收納取扱方……………二五
- 官吏遺族扶助法納金收入規則……………二六
- 官吏遺族扶助法納金收入規則取扱順序……………二七
- 府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法納金收入規則……………二八
- 軍事費補足ノ獻金收入ノ件……………二九
- 軍資獻納金取扱方並一般會計歲入トシテ取扱タルモノ更正方等ノ件……………三〇
- 內務省所管諸收入收納取扱規程……………三一
- 陸軍省所管歲入收納取扱規程……………三二
- 農商務省所管諸收入收納取扱方……………三三
- 官有土地森林原野收入金徵收規程……………三四
- 國有林野及產物賣拂代金延納ノ件……………三五
- 國有林野及產物賣拂代金延納規則……………三六
- 森林收入未納金一時ニ徵收シ難キ場合延納許可ニ關スル件……………三七
- 郵便電信電話ニ關スル滯納料金徵收規程……………三八

●電信柱敷地手當金過渡等返納金收入未済計算書調製差出方	三九
●略號登記料配達先登記料局渡料ノ金額及納付手續	四〇
●第六節 手數料種目	
●收入印紙ヲ以テ手數料ヲ納ムルノ件	四一
●收入印紙ヲ以テ手數料納方ノ件	四二
●大藏省ヘ納ムヘキ手數料種目	四三
●賣藥營業免許鑑札料收入印紙貼付方	四四
●外務省ヘ納付スヘキ手數料種目	四五
●外務省ヘ納ムル收入印紙消印ノ件	四六
●內務省ヘ納ムヘキ手數料種目	四七
●文部省ヘ納ムヘキ手數料種目	四八
●農商務省ヘ納ムヘキ手數料種目	四九
●遞信省ヘ納ムヘキ手數料種目	五〇
●遞信省ヘ納ムル收入印紙消印ノ件	五一
●臺灣ニ於ケル印紙貼用ニ關スル件	五二
●臺灣總督府ヘ納ムヘキ手數料種目	五三

●臺灣總督府ヘ納ムル收入印紙貼用方	五四
●第七節 諸貸付金	
●諸貸付金取扱規程	五五
●第八節 臺灣ニ關スルモノ	
●臺灣歳入取扱規程	五六
●臺灣租稅滯納處分規則	五七
●臺灣租稅滯納處分規則施行細則	五八
●臺灣租稅滯納處分規則ヲ地方稅及地方稅ニ屬スル稅外諸收入ニ準用ノ件	五九
●臺灣總督府特別會計ニ屬スル返納告知書、納入告知書記入ノ件	六〇
●臺灣總督府學租財產徵收ニ關スル件	六一
●郵便電信電話ニ關スル滯納料金徵收方	六二

○第三篇 財政

◎第七章 收入

●第一節 歳入徴收官

●歳入徴收官交替ノトキ金庫へ通知方

明治三十三年五月
大蔵省訓令第四十五號

大蔵省所管歳入徴收官金庫出納役

- 一 歳入徴收官交替ノトキハ直ニ關係ノ各金庫へ其旨ヲ通知スヘシ
- 一金庫ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ帳簿上前任歳入徴收官官氏名ノ上ニ何年何月何日交替ニ據リ後任何官何某ニ改ムト記入スヘシ(前任官官氏名ハ
塗抹スヘカラス)
- 一 歳入金月計對照表ハ歳入徴收官ノ前任後任ヲ區別セシ總テ後任官ノ計算ニ組込調製スヘシ

●内務省所管歳入徴收官交替シタルトキ取扱方

明治三十三年五月
内務省訓令第十號

當省所管歳入徴收官交替シタルトキハ本年大藏省訓令第四十五號ニ據リ取扱フヘシ

歳入徴收官

●農商務省所管歳入徴收官交替ノ場合取扱方

明治三十三年五月
農商務省訓令第二十號

農商務省所管歳入徴收官
大林区署及林野整
理支局ヲ除ク

歳入徴收官交替ノ場合ニ於テハ明治三十三年五月
大藏省訓令第四十五號ノ規定ニ準據シ取扱フヘシ

●第二節 國稅

●國稅徵收法

明治三十年三月
法律第二十二號

改正

●明治三十五年三月
法律第三十六號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル國稅徵收法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
國稅徵收法

第一章 總則

第一條 國稅ノ徵收ハ關稅其ノ他別ニ法律ヲ以テ定ムルモノノ外總テ此ノ法律ニ依ル

第二條 國稅ノ徵收ハ總テノ他ノ公課及債權ニ先ツモノトス

第三條 納稅人ノ財產上ニ質權又ハ抵當權ヲ有スル者其ノ質權又ハ抵當權ノ設定カ國稅ノ納期限ヨリ
一箇年前ニ在ルコトヲ公正證書ヲ以テ證明シタルトキハ該物件ノ價額ヲ限トシ其ノ債權ニ對シテ國
稅ヲ先取セサルモノトス

第四條ノ一 納稅人左ノ場合ニ該當スルトキハ未タ納期ノ到ラサルモ既ニ納稅義務ノ確定シタル國稅
ハ總テ之ヲ徵收スルコトヲ得

一 國稅ノ滯納ニ因リ滯納處分ヲ受クルトキ

二 府縣稅其ノ他ノ公課ノ滯納ニ因リ滯納處分ヲ受クルトキ

三 強制執行ヲ受クルトキ

四 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ

五 競賣ノ開始アリタルトキ

六 法人カ解散ヲ爲シタルトキ

七 納税人脱税又ハ遺税ヲ謀ルノ所爲アリト認ムルトキ

第四條ノ二 前條第二號乃至第五號ノ場合ニ於テ徵收スヘキ國稅ハ府縣稅其ノ他ノ公課ノ督促手數料及滯納處分費、強制執行費用、破産手續上ノ費用又ハ競賣費用ニ先チテ之ヲ徵收セス

督促手數料及滯納處分費ハ國稅其ノ他總テノ公課及債權ニ先チテ之ヲ徵收ス但シ第四條ノ一第二號乃至第五號ノ場合ニ於ケル府縣稅其ノ他ノ公課ノ督促手數料及滯納處分費、強制執行費用、破産手續上ノ費用又ハ競賣費用ニ先チテ之ヲ徵收セス

第四條ノ三 和綴開始ノ場合ニ於テハ國稅、督促手數料及滯納處分費ハ相續財團又ハ相續人ヨリ之ヲ徵收ス但シ戸主ノ死亡以外ノ原因ニ依リ家督相續ノ開始アリタルトキハ被相續人ヨリモ之ヲ徵收スルコトヲ得

國籍喪失ニ因ル相續人又ハ限定承認ヲ爲シタル相續人ハ相續ニ因リテ得タル財産ヲ限度トシテ國稅、督促手數料及滯納處分費ヲ納付スルノ義務ヲ有ス

第四條ノ四 共有物、共同事業又ハ共同事業ニ因リ生シタル物件ニ係ル國稅、督促手數料及滯納處分費ハ納稅者連帶シテ其ノ義務ヲ負擔ス

第四條ノ五 同年ノ地租、營業稅、所得稅、醬油稅及同酒造年度ノ酒造稅ニシテ既納ノ税金過納ナルトキハ爾後ノ納期ニ於テ徵收スヘキ同一稅目ノ税金ニ充ツルコトヲ得

第四條ノ六 納稅義務者納稅地ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ納稅ニ關スル事項ヲ處理セシムル爲メ納稅管理人ヲ定メ政府ニ申告スヘシ其ノ納稅管理人ヲ變更シタルトキ亦同シ但シ他ノ法令ニ特別ノ規定アルモノハ各其ノ法令ニ依ル

第四條ノ七 納稅ノ告知、督促及滯納處分ニ關スル書類ハ名宛人ノ住所又ハ居所ニ送達ス名宛人カ相

續財團ニシテ財産管理人アルトキハ財産管理人ノ住所又ハ居所ニ送達ス

納稅管理人アルトキハ納稅ノ告知及督促ニ關スル書類ニ限リ其ノ住所又ハ居所ニ送達ス

第四條ノ八 書類ノ送達ヲ受クヘキ者其ノ住所又ハ居所ニ於テ書類ノ受取ヲ拒ミタルトキ若ハ其ノ住所、居所共ニ不明ナルトキハ書類ノ要旨ヲ公告シ公告ノ初日ヨリ七日ヲ經過シタルトキハ書類ノ送達アリタルモノト看做ス

第二章 徵收

第五條 市町村ハ其ノ市町村内ノ地租及勅令ヲ以テ命シタル國稅ヲ徵收シ其ノ税金ヲ國庫ニ送付スルノ責任アルモノトス

前項地租徵收ノ費用ハ其ノ市町村ノ負擔トシ其ノ他ノ國稅ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ其ノ市町村ニ交付スヘシ

第六條 國稅ヲ徵收セムトスルトキハ收稅官吏又ハ市町村ハ納稅人ニ對シ其ノ納金額、納期日及納付場所ヲ指定シ之ヲ告知スヘシ

第七條 納稅人非常ノ災害ニ罹リ政府ニ於テ其ノ被害調査ノ爲時日ヲ要スルトキハ其ノ間税金ノ徵收ヲ爲ササルコトアルヘシ

第八條 市町村ハ避クヘカラサル災害ニ因リ既收ノ税金ヲ失ヒタルトキハ其ノ事實ヲ證明シ大藏大臣ニ税金送付ノ責任ノ免除ヲ請フコトヲ得

前項ノ申出アリタルトキハ大藏大臣ハ其ノ事實ヲ審査シ其ノ免除ヲ爲スコトヲ得

第九條 國稅ノ納期限ヲ過キ其ノ税金ヲ完納セサル者アルトキハ收稅官吏ハ期限ヲ指定シ之ヲ督促スヘシ但シ第四條ノ一ニ依リ國稅ノ徵收ヲ爲ストキハ此ノ限ニ在ラス

前項ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ督促手數料ヲ徵收ス

第三章 滞納處分

第十條 左ノ場合ニ於テハ收税官吏ハ納税者ノ財産ヲ差押フヘシ

- 一 納税者督促ヲ受ケ其ノ指定ノ期限マテニ督促手數料及税金ヲ完納セサルトキ
- 二 第四條ノ一第一號及第七號ノ場合ニ於テ納税者納期ノ到ラサル國稅納付ノ告知ヲ受ケ税金ヲ完納セサルトキ

第十一條 收税官吏滞納處分ノ爲財産ノ差押ヲ爲ストキハ其ノ命令ヲ受ケタル官吏タルノ證書ヲ示スヘシ

第十二條 差押フヘキ財産ノ價格ニシテ督促手數料、滞納處分費及第三條ニ依リ控除スヘキ債務額ニ充テ殘餘ヲ得ル見込ナキトキハ滞納處分ノ執行ヲ止ム

第十三條 收税官吏滞納者ノ財産ヲ差押フルニ當リ質權ノ設定セラレタル物件アルトキハ質權設定時期ノ如何ニ拘ラス其ノ質權者ハ質物ヲ收税官吏ニ引渡スヘシ

第十四條 收税官吏財産ノ差押ヲ爲シタル場合ニ於テ第三者其ノ財産ニ就キ所有權ヲ主張シ取戻ヲ請求セムトスルトキハ賣却執行ノ五日前マテニ所有者タルノ證據ヲ具ヘテ收税官吏ニ申出ヘシ

第十五條 滞納處分ヲ執行スルニ當リ滞納者財産ノ差押ヲ免ルル爲故意ニ其ノ財産ヲ讓渡シ讓受人其ノ情ヲ知り讓受ケタル場合ニ於テ政府ハ其ノ行爲ノ取消ヲ求ムルコトヲ得

第十六條 左ニ掲クル物件ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス

- 一 滞納者及其ノ同居ノ家族ノ生活上缺クヘカラサル衣服、寢具、家具及廚具
- 二 滞納者及其ノ同居家族ニ必要ナル一箇月間ノ食料及薪炭
- 三 實印其ノ他職業ニ必要ナル印
- 四 祭祀禮拜ニ必要ナリト認ムル物及石碑、墓地

五 系譜其ノ他滞納者ノ家ニ必要ナル日記書付類

六 職務上必要ナル制服、祭服、法衣

七 勳章其ノ他名譽ノ章票

八 滞納者及其ノ同居家族ノ修學上必要ナル書籍器具

九 發明又ハ著作ニ係ル物ニシテ未タ公ニセサルモノ

第十七條 左ニ掲クル物件ハ他ニ督促手數料、滞納處分費及税金ヲ償フニ足ルヘキ物件ヲ提供スルトキハ滞納者ノ選擇ニ依リ差押ヲ爲ササルモノトス

一 農業ニ必要ナル器具、種子、肥料及牛馬並其ノ飼料

二 職業ニ必要ナル器具及材料

第十八條 差押ノ效力ハ差押物ヨリ生スル天然及法定ノ果實ニ及フモノトス

第十九條 滞納處分ハ裁判上ノ假差押又ハ假處分ノ爲ニ其ノ執行ヲ妨ケララルコトナシ

第二十條 收税官吏財産ノ差押ヲ爲ストキハ滞納者ノ家屋、倉庫及筐匣ヲ搜索シ又ハ閉鎖シタル戸扉、

筐匣ヲ開カシメ若ハ自ラ之ヲ開クコトヲ得滞納者ノ財産ヲ占有スル第三者其ノ財産ノ引渡ヲ拒ミタルトキ亦同シ

第三者ノ家屋、倉庫及筐匣ニ滞納者ノ財産ヲ藏匿スルノ疑アルトキハ收税官吏ハ前項ニ準シ處分スルコトヲ得

前二項ニ依リ家屋、倉庫又ハ筐匣ヲ搜索スルハ日出ヨリ日没マテニ限ル

第二十一條 收税官吏前條ノ處分ヲ爲ストキハ滞納者若ハ前條ニ掲ケタル第三者又ハ其ノ家族庶人ヲ

シテ立會ハシムヘシ若シ立會フヘキ者不在ナルトキ又ハ立會ニ應セサルトキハ成丁者二人以上又ハ

市町村吏員市制町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ區戸長及其ノ附屬吏員若ハ警察官吏ヲ證人トシテ立會ハシムヘシ

第二十二條 動産及有價証券ノ差押ハ收税官吏占有シテ之ヲ爲ス但シ差押物件運搬ヲ爲スニ困難ナルトキハ市町村長、滞納者又ハ第三者ヲシテ保管ヲ爲サシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ封印其ノ他ノ方法ヲ以テ差押ヲ明白ニスヘシ

第二十三條ノ一 債權ノ差押ヲ爲ストキハ收税官吏ハ之ヲ債務者ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ爲シタルトキハ政府ハ督促手數料、滞納處分費及税金額ヲ限度トシテ債權者ニ代位ス

第二十三條ノ二 不動産又ハ船舶ヲ差押ヘタルトキハ收税官吏ハ差押ノ登記ヲ所轄登記所ニ囑託スヘシ其ノ抹消又ハ變更ノ登記ニ付テモ亦同シ

差押ノ爲不動産ヲ分割シタルトキハ收税官吏ハ分割ノ登記ヲ所轄登記所ニ囑託スヘシ其ノ抹消又ハ變更ノ登記ニ付テモ亦同シ

第二十四條 差押ヘタル動産、有價証券、不動産及第二十三條ノ一ニ依リ收税官吏カ第三債務者ヨリ給付ヲ受ケタル物件ハ通貨ヲ除クノ外公賣ニ付ス公賣ノ手續ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

公賣ニ付スルモ買受人ナキカ又ハ其ノ價格見積價格ニ達セサルトキハ其ノ見積價格ヲ以テ政府ニ買上クルコトヲ得

第二十五條 見積價格僅少ニシテ其ノ公賣費用ヲ償フニ足ラサル物件ハ隨意契約ヲ以テ之ヲ賣却スルコトヲ得

第二十六條 滞納者及賣却ヲ爲ス地方ノ稅務ニ關スル官吏、公吏、雇員ハ直接ト間接ト問ハス其ノ賣却物件ヲ買受クルコトヲ得ス

第二十七條 滞納處分費ハ財産ノ差押、保管、運搬、公賣ニ關スル費用及通信費トス

第二十八條 物件ノ賣却代金、差押ヘタル通貨及第二十三條ノ一ニ依リ第三債務者ヨリ給付ヲ受ケタル通貨ハ督促手數料、滞納處分費及税金ニ充テ尙殘餘アルトキハ之ヲ滞納者ニ交付ス

賣却シタル物件質權、抵當權ノ目的物タルトキハ其ノ代金ヨリ先ツ督促手數料、滞納處分費及税金ヲ控除シ次ニ其ノ債務額ニ充ツルマテ尙殘餘アルトキハ之ヲ滞納者ニ交付ス但シ第三條ニ掲ケタル質權、抵當權ノ目的物タル物件ニ關シテハ其ノ代金ヨリ先ツ督促手數料、滞納處分費ヲ徴シ次ニ其ノ債務額ニ充ツルマテ尙殘餘アルトキハ之ヲ滞納者ニ交付ス

第二十九條 會社ニ對シ滞納處分ヲ執行スル場合ニ於テ會社財産ヲ以テ督促手數料、滞納處分費及税金ニ充テ仍不足アルトキハ無限責任社員ニ就キ之ヲ處分スルコトヲ得

第三十條 此ノ法律ニ依リ債權者又ハ滞納者ニ交付スヘキ金錢ハ之ヲ供託スルコトヲ得

第三十一條 滞納處分ヲ結了シ若ハ之ヲ中止シタルトキハ納稅義務及督促手數料、滞納處分費納付ノ義務ハ消滅ス

第四章 罰則

第三十二條 滞納者又ハ滞納者ノ財産ヲ占有スル者其ノ財産ヲ藏匿脱漏シ又ハ虛偽ノ契約ヲ爲シタルトキハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

差押物件ノ保管者其ノ保管ニ係ル物件ヲ藏匿脱漏費消若ハ故意ニ毀損シタルトキ亦同シ情ヲ知テ前二項ノ所爲ヲ幫助シ又ハ虛偽ノ契約ヲ承諾シタル者ハ各本刑ニ一等ヲ減ス

前各項ノ場合ニ於テ刑法ニ罰條アルモノハ本條ヲ適用セス

第五章 附則

第三十三條 此ノ法律ハ明治三十年七月一日ヨリ施行ス

沖繩縣及東京府管内小笠原島、伊豆七島ニハ當分ニテ施行セズ

市制町村制ヲ施行セサル地方ニ於テ本法中市町村ニ關スル條項ヲ適用スヘキ公共團體ハ勅令ヲ以テ

之ヲ指定ス

北海道水産物營業人組合ハ本法ニ於テ市町村ニ準ス

第三十四條 明治二十二年法律第九號國稅徵收法、同年法律第三十二號國稅滯納處分法及同二十三年法律第四號ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス

●國稅徵收法施行規則

明治三十五年四月
勅令第三百三十五號

朕國稅徵收法施行規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

國稅徵收法施行規則

- 第一條 收稅官吏國稅ヲ徵收セムトスルトキハ納稅人ニ對シ其ノ納金額、納期日及納付場所ヲ記載シタル納稅告知書ヲ發スヘシ但シ金庫ニ納付セシムル場合ノ外口頭ヲ以テ告知スルコトヲ得
- 第二條 市町村ニ於テ徵收スヘキ國稅ハ收稅官吏書面ヲ以テ其ノ金額ヲ市町村ニ通知スヘシ市町村ハ前項ノ通知ニ依リ納稅人ニ對シ其ノ納金額、納期日及納付場所ヲ記載シタル納稅告知書ヲ發スヘシ
- 第三條 國稅徵收法第四條ノ一ニ依リ納期ノ到ラサル稅金ヲ徵收セムトスルトキハ納期日ヲ定メ第一條ノ告知又ハ第二條ノ通知ヲ爲スト同時ニ其ノ旨告知又ハ通知スヘシ
- 納稅告知ヲ爲シタル後國稅徵收法第四條ノ一ニ依リ納期日前之ヲ徵收セムトスルトキハ收稅官吏ハ納期日ノ變更ヲ納稅人ニ告知スヘシ
- 前項ノ國稅ニシテ市町村ノ徵收スルモノナルトキハ納稅人ニ告知スルト同時ニ其ノ旨市町村ニ通知スヘシ
- 第四條 市町村ニ於テ稅金ヲ徵收シタルトキハ領收證ヲ納稅人ニ交付スヘシ
- 第五條 市町村ニ於テ徵收シタル稅金ハ送付書ヲ添へ漸次之ヲ金庫ニ送付スヘシ但シ納期後三日ヲ過クルコトヲ得ス
- 第六條 市町村ニ於テ國稅徵收法第八條ニ依リ稅金送付ノ責任ノ免除ヲ請ハムトスルトキハ地方長官ヲ經由シテ大藏大臣ニ申請書ヲ提出スヘシ

地方長官前項ノ申請書ヲ受ケタルトキハ其ノ事實ヲ調査シ意見ヲ具シテ大藏大臣ニ送付スヘシ
第七條 市町村ハ納期内ニ税金ノ納付ヲ了ラサル者アルトキハ直ニ其ノ氏名、住所若ハ居所及納金額
滞納ノ事由ヲ所轄稅務署ニ報告スヘシ

第八條 國稅徵收法第四條ノ一ニ依リ徵收スルコトヲ得ル國稅ハ左ニ掲クルモノニシテ納期ニ到リ稅
金ノ徵收ヲ完ウスルコト能ハスト認ムルモノニ限ル

一 納稅ノ告知ヲ爲シタル諸稅

二 造石數査定濟ノ酒類、酒精、酒精含有飲料並醬油ノ造石稅及造石數査定濟ノ麥酒稅

三 當該年分ノ自家用醬油製造稅

第九條 納稅義務者納稅管理人ヲ定メ若ハ變更シタルトキハ其ノ氏名及住所若ハ居所ヲ所轄稅務署ニ
申告スヘシ

納稅管理人其ノ氏名、住所又ハ居所ヲ變更シタルトキハ之ヲ所轄稅務署ニ申告スヘシ

市町村ニ於テ徵收スヘキ國稅ニ係ルトキハ前二項ノ申告ハ其ノ市町村ヲ經由スヘシ

第十條 國稅徵收法ニ依ル書類ノ送達ハ使丁又ハ郵便ニ依ルヘシ

第十一條 國稅徵收法第九條ニ依リ納稅ノ督促ヲ爲サムトスルトキハ收稅官吏ハ納稅者ニ對シ督促狀
ヲ發スヘシ

督促狀ヲ發シタルトキハ手數料トシテ金十錢ヲ徵收ス

第十二條 質權又ハ抵當權ノ設定セラレタル財産ヲ差押フルトキハ收稅官吏ハ督促手數料、滞納處分
費及稅金額其ノ他必要ト認ムル事項ヲ其ノ債權者ニ通知スヘシ

國稅ニ對シ先取權ヲ有スル債權者前項ノ通知ヲ受ケ其ノ權利ヲ行使セムトスルトキハ證據書類ヲ添
ヘ其ノ事實ヲ證明スヘシ

第十三條 民事訴訟法ニ依リ假差押ヲ受ケタル財産ヲ差押フルトキハ之ヲ執行裁判所又ハ執達吏若ハ
強制管理人ニ通知スヘシ假處分ヲ受ケタル財産ヲ差押フルトキハ亦之ニ準ス

第十四條 差押フヘキ財産管轄區域外ニ在ルトキハ收稅官吏ハ其ノ財産所在地ノ收稅官吏ニ滞納處分
ノ引繼ヲ爲スヘシ

第十五條 差押フヘキ財産數人ノ共有ニ係ルトキハ滞納者ニ屬スル持分ニ就キ滞納處分ヲ爲シ其ノ持
分ノ定メナキモノハ持分相均キモノトシテ處分スヘシ

第十六條 收稅官吏財産ヲ差押ヘタルトキハ差押調書ニ通リ作り立會人ト共ニ之ニ署名捺印シ其ノ一
通ハ立會人ニ交付スヘシ但シ立會人ニ於テ署名捺印ヲ拒ミ又ハ署名捺印スルコト能ハサルトキハ其
ノ理由ヲ附記スヘシ

差押調書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 滞納者ノ氏名及住所若ハ居所

二 差押財産ノ名稱、數量、性質、重要ナル事情並所在ヲ明ニスル事項

三 差押ノ事由

四 調書ヲ作りタル場所年月日

前二項ノ規定ハ債權ノミノ差押ニハ之ヲ適用セス

第十七條 收稅官吏財産ヲ差押ヘタル場合ニ於テ滞納者又ハ第三者ヨリ督促手數料、滞納處分費及稅
金ヲ完納シタルトキハ其ノ財産ノ差押ヲ解除スヘシ

第十八條 公賣ハ入札又ハ競賣ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第十九條 國稅徵收法第二十四條ニ依リ公賣ヲ爲サムトスルトキハ左ノ事項ヲ公告スヘシ
一 滞納者ノ氏名及住所若ハ居所

第三十五條 本令ハ明治三十五年法律第三十六號國稅徵收法中改正法律施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
明治三十年勅令第二百二十一號ハ之ヲ廢止ス

●國稅徵收法施行細則 明治三十年六月 大藏省令第十號

- 改正
- 明治三十三年四月 省令第九號
 - 明治三十四年九月 省令第十八號
 - 明治三十五年六月 省令第十六號
 - 明治三十五年七月 省令第十九號
 - 明治三十六年五月 省令第十二號
 - 明治三十四年四月 省令第二號
 - 明治三十五年四月 省令第八號
 - 明治三十五年五月 省令第九號
 - 明治三十五年七月 省令第十九號
 - 明治三十六年五月 省令第十二號

國稅徵收法施行細則左ノ通相定ム

國稅徵收法施行細則

- 第一條 國稅徵收法施行規則第一條ノ納稅告知書ハ稅務署長ニ於テ第一號書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 第二條 市町村市制町村制ヲ施行セザル地方ニ於テハ戶長ノ徵集スヘキ國稅ハ稅務署長ニ於テ第二號書式ノ納額通知書ヲ調製シ之ヲ市町村市制町村制ヲ施行セザル地方ニ於テハ戶長ニ送付スヘシ其ノ異動ヲ生シタルトキハ更ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ
- 第三條 一 市町村市制町村制ヲ施行セザル地方ニ於テハ戶長前條ノ納額通知書ヲ受ケタルトキハ第三號書式ノ納稅告知書ヲ調製シ之ヲ納稅人ニ交付スヘシ
- 第三條 二 納稅人納稅告知書ヲ受ケタルトキハ稅金ニ納稅告知書ヲ添ヘ之ヲ指定ノ場所ニ納付スヘシ
- 第四條 市町村其ノ領收シタル稅金ヲ金庫ニ送付スルトキハ第四號書式ノ送付書ヲ添付スヘシ
- 第五條 市町村市制町村制ヲ施行セザル地方ニ於テハ戶長滯納ノ報告ヲ爲ストキハ第五號書式ノ滯納報告書ヲ調製シ稅務署ニ送付スヘシ送付後ニ其ノ報告書ニ異動ヲ生シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ
- 第六條 稅金納付ノ督促ヲ爲ストキハ稅務署長ハ第六號書式ノ督促狀ヲ發スヘシ
- 前項ノ督促ヲ爲ストキハ第七號書式第八號書式ノ納付書ヲ添付スヘシ但シ收稅官吏ノ納稅告知書ヲ發シタル稅金ニ係ルトキハ第七號書式ノ納付書ヲ添付スルヲ要セス

納税人督促ヲ受ケ税金及督促手数料ヲ金庫ニ納付セムトスルトキハ納税告知書及納付書ヲ添附スヘシ但シ市町村ノ徴收スヘキ國税ニ係ルトキハ納税告知書ヲ添附スルヲ要セス

第七條 税金及督促手数料、滞納處分費ハ郵便爲替、日本銀行若ハ其ノ代理店ニ宛テタル送金手形又ハ日本銀行若ハ其ノ代理店ニ於テ證明シタル小切手ヲ以テ納付スルコトヲ得

第八條 納税人ハ指定ノ納付場所以外ノ地ニ於テ納税スルヲ便トスルトキハ稅務署ニ申告シテ納付場所ノ變更ヲ求ムルコトヲ得

第九條 稅務署長ハ國稅滯納者ノ財產差押ヲ命シタル收稅官吏ニ左ノ證票ヲ交付スヘシ
用紙厚紙 縱二寸五分横一寸五分

第「何」號	「何」稅務署
國稅滯納者	「官」氏名
財產差押	
證票	

第十條 收稅官吏債權ノ差押ヲ爲ストキハ債務者ニ對シ第九號書式ノ債權差押通知書ヲ發スヘシ

第十一條 國稅徵收法施行規則第十六條ノ差押調書ハ第十號書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第十二條 收稅官吏財產ヲ賣却セムトスル場合ニ其價格ヲ見積リ難キモノアルトキハ適當ナル鑑定人ヲ選ミ其ノ評價ヲ爲サシムルコトヲ得

第十三條 入札ノ方法ヲ以テ財產ヲ公賣スル場合ニハ買受望人ハ其ノ住所氏名買受財產ノ種類員額及

入札價額ヲ記シタル入札書ヲ封緘シテ差出スヘシ

第十四條 入札書ハ公告ニ示シタル開札ノ場所、日時ニ入札人ノ面前ニ於テ之ヲ開クモノトス但シ入札人又ハ其ノ代理人開札ノ場所ニ出席セサルトキハ其ノ立會ヲ要セスシテ開札スルコトヲ得

第十五條 競賣ノ方法ヲ以テ財產ヲ公賣スルトキハ競賣人ヲ選ミ之ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第十六條 加入保證金又ハ契約保證金ハ公賣財產ノ見積價格百分ノ十以內ニ於テ適宜其ノ金額ヲ定ムルモノトス

第十七條 公賣財產ノ買受人又ハ競賣人ハ納付書ヲ添ヘ其ノ代金ヲ稅務署長ニ納付スヘシ

第十八條 督促又ハ滞納處分ニ關シ使丁ヲ以テ書類ノ送達ヲ爲ストキハ第十一號書式ノ送達書ニ受取人ノ署名捺印ヲ求ムヘシ

第十九條 滞納處分ヲ結了シタルトキハ收稅官吏ハ第十二號書式ノ計算書ヲ調製シ之ヲ滯納者ニ交付スヘシ

第一號書式

用紙適宜縱四寸五分
横三寸三分ノモノ二枚縱四寸五分
横二寸五分ノモノ一枚接續

(「内印印章ハ執レモ朱」)

第「何」號	「何」年	度	「何」市町村	「何」納
經常租	稅	「何」稅(項)	「何」年	「何」期
大藏省	主管	「何」稅務署		
一金「何」程				「何」稅
右明治「何」年何月「何」日限「何」金庫(又ハ「何」稅務署)へ納付				

「何」稅務署長
「官」氏名「團」

明治「何」年「何」月「何」日

金庫
割印

第「何」號「何」年度
「何市町村」

「何」納

一金「何」程
「何」年「何」期「分」

「何」金庫
「何」年「何」期「分」

（又ハ收入官吏
氏名「團」）

明治「何」年「何」月「何」日領收

領收證書

金庫
割印

第「何」號「何」年度
「何市町村」

「何」納

通經常租稅「何」稅（項）「何」年「何」期「分」

書

知書

一金「何」程
「何」稅

「何」金庫
「何」年「何」期「分」

明治「何」年「何」月「何」日領收

「何」稅務署長「氏名」殿

（又ハ收入官吏
氏名「團」）

備考

- 一 領收證書及通知書用紙ノ納入金額納入年度科目等ハ總テ納稅告知書發行者ニ於テ記入スルモノトス
- 二 金額ヲ數行並記シタルトキハ其ノ左傍ニ合計額ヲ掲記スルモノトス
- 三 酒造稅、自家用酒稅ノ場合ニハ「何」年「何」期「分」トアルナ「何」年度「何」期「分」トスルモノトス
- 四 收稅官更本番ニ依リ稅金ヲ領收スルトキハ明治二十六年大藏省令第三十二號ノ現金領收證ヲ發行スルコトヲ要ス

第二號書式

用紙適宜 縦四寸五分 横三寸三分

納額通知	第「何」號「何」年度	「何」年「何」月「何」日限「何市町村」納
經常租稅	「何」稅（項）	「何」年「何」期「分」
大藏省主管	「何」稅務署	「何」金庫
撥		
一金「何」程		「何」稅（目）
一金「何」程		「何」稅（目）

書 右通知候也

「何」稅務署長

「官 氏 名」 團

明治「何」年「何」月「何」日

備考

- 一 一人別納額ノ通知ヲ要スル場合ニハ一人別納額調査ヲ添付スルモノトス但シ人員少キトキハ金額ノ左傍ニ記入スルモ妨ケナシ
- 二 市制町村制ヲ施行セサル地方ノ戸長ニ通知スル場合ニハ「何」年「何」月「何」日「何」市町村「納」トアルチ「何」町村「分」トス
- 三 市町村ノ便宜ニ依リ出納區域ニアラサル金額ヲ指定シタルトキハ課メ之チ其ノ金額ニ通知スルモノトス

第三號書式

用紙適宜 縦四寸二枚接續

第「何」號	「何」年度	「何」市町村大字何々番地	「何」納
租	稅「何」	稅「何」	「何」年「何」期「何」分
一金「何」程			「何」稅
一金「何」程			「何」稅
計金「何」程			「何」稅

右「何」年「何」月「何」日限「何」役場「へ」納付

書

明治「何」年「何」月「何」日

（何市町村長何某團）
（又ハ「何」市町村戸長何某團）

金庫
封印

第「何」號	「何」年度	「何」市町村	「何」納
租	稅「何」	稅「何」	「何」年「何」期「何」分
一金「何」程			「何」稅
一金「何」程			「何」稅
計金「何」程			「何」稅

明治「何」年「何」月「何」日領收

領收者氏名 團

備考

- 一 市町村ニ於テ税金ノ取扱上必要ナルニ於テハ領收證書ノ外ニ適宜ノ別符ヲ付スルモ妨ナシ

第四號書式

用紙適宜 縦四寸五分ノモノ一枚 縦四寸五分ノモノ二枚接續

送付書

「何」年度	經	常	租	稅	「何」稅(項)	「何」年「何」期分
大藏省主管	「何」	稅	務	署		
一金「何」程						「何」稅
一金「何」程						「何」稅

右送付候也

明治「何」年「何」月「何」日

「何」市町村長氏名「圖」

金庫
別印

納入濟書

「何」年	度	「何」年「何」期分	「何」市町村	納
「何」稅	(項)		「何」稅務署長	「官」氏名「拔
一金「何」程				「何」稅
一金「何」程				「何」稅

明治「何」年「何」月「何」日納入濟

「何」金庫

金庫
別印

領收證書

「何」年「何」期分	「何」市町村	納
一金「何」程		「何」稅
一金「何」程		「何」稅

明治「何」年「何」月「何」日領收

「何」金庫

備考

一 納付濟書及領收證書用紙ノ納入金額納入年度科目等ハ總テ市町村ニ於テ記入スルモノトス

第五號書式

滯納者報告書

年 度	納期區分	科 目	稅 額	事 由	住 所	氏 名
「何」年度	「第何期」	「田 租」	「〇〇〇」	「何」々	「何」市「何」町「何」村大字「何」番地「何」	「何」某
計						

右報告候也

明治「何」年「何」月「何」日

「何」市「何」町「何」村長「何」某「圖」
(又ハ「何」町「何」村「何」長「何」某「圖」)

第六號書式

「何」稅務署長
「官」氏名「殿」

第「何」號		「何」市何町村大字何何番地「某」	
「何」年度	租	稅	何稅(項)「何」年「何」期「分」
一金「何」程		滯納稅金	
內金「何」程		「何」稅	
一金「何」程		「何」稅	
督促手數料			
右「何」月「何」日限「何」金庫(又ハ「何」稅務署へ納付スヘシ若シ其ノ期限ヲ過キ完納セサルトキハ直ニ財産差押ノ處分ヲ爲スヘシ)			
「何」稅務署長			
明治「何」年「何」月「何」日			
「官」氏名「圖」			

第七號書式

用紙適宜縦四寸五分ノモノ二枚横三寸三分ノモノ一枚接續

納	「何」年度	「何」市何町村「某」納
經	常租	稅「何」稅(項)「何」年「何」期「分」

付書

大藏省主管「何」稅務署	「何」稅
一金「何」程	「何」稅
一金「何」程	「何」稅
明治「何」年「何」月「何」日	

領收證書

「何」年度	「何」市何町村「某」納
租	稅「何」稅(項)「何」年「何」期「分」
一金「何」程	「何」稅
一金「何」程	「何」稅
一金「何」程	「何」稅
明治「何」年「何」月「何」日	
「何」金庫圖	

通

「何」年度	「何」市何町村「某」納	
經	常租	稅「何」稅(項)「何」年「何」期「分」

領收證書		通知	
[何]年	[何]年度	[何]年	[何]年度
雑収入	免許及手數料	經常收入	免許及手數料
一金「何程」 取扱主任之印	手數料	一金「何程」 取扱主任之印	手數料
明治「何」年「何」月「何」日	[何]金庫		[何]郡市何町村
			某納

納付書		通知	
[何]年	[何]年度	[何]年	[何]年度
經常收入	免許及手數料	大藏省主管「何」稅務署	税金
一金「何程」	手數料	税金	税金
明治「何」年「何」月「何」日			

第八號書式
用紙適宜 縦四寸五分ノモノ一枚 横三寸三分ノモノ一枚 接續

備考
一 出納區域ニアラサル金庫へ納付セシムルトキハ納付書中「何金庫へ納付スルコトヲ承認ス」ト記入シ稅務署印ヲ押捺スルモノトス
二 收稅官吏ニ於テ税金ヲ領收セントスルトキハ本書ニ依リ領收證書交付シ明治二十六年大藏省令第三十二號ノ現金領收證書ニ代フルモノトス

書

明治「何」年「何」月「何」日領收

「何」稅務署長「氏」名「殿」

「何」金庫圖

備考

- 一 出納區域ニアラサル金庫へ納付セシムルトキハ納付書中へ「何」金庫へ納付スルコトヲ承認ス「ト」記入シ稅務署印ヲ押捺スルモノトス
- 二 收稅官吏ニ於テ督促手數料ヲ領收セントスルトキハ本書ニ依リ領收證ヲ交付シ明治二十六年大藏省令第三十二號ノ現金領收證ニ代フルモノトス
- 三 督促手數料ニシテ租稅ト所屬年度ノ同一ナルモノハ第七號書式納付書中ニ該項目及金額ヲ併記兼用シ本書式ノ納付書ヲ省略スルコトヲ得

第九號書式

債權差押通知書

「何」府縣何郡市何町村大字何何番地

債權者 「何」某

「何」府縣何郡市何町村大字何何番地

債務者 「何」某

徵收金額

一金「何」程

内

金「何」程

金「何」程

税金

督促手數料及滯納處分費

前記金額徵收ノ爲メ明治「何」年「何」月「何」日（納付ノ期限ナキ債務ノ場合ニハ年月日ヲ省ク）債務者ヨリ支拂フヘキ「何々」金「何」程（又ハ金「何」程ノ内金「何」程）差押フルニ付明治「何」年「何」月「何」日迄ニ本官ニ支拂フヘキモノトス

此ノ通知ヲ受ケタル後債權者ニ對シ支拂ヲ爲スモ其ノ支拂ハ無効タルヘシ
右通知候也

「何」稅務署長

「官」氏名「團」

明治「何」年「何」月「何」日

「何」府縣何郡市何町村大字何何番地

「何」某「宛」

備考

- 一 債務者官廳ナルトキハ其ノ任命令官ノ官氏名法人ナルトキハ其ノ法人ノ名ヲ記入スルモノトス
- 二 債權ノ目的カ金額以外ノモノナルトキハ其ノ名稱、數量其ノ他重要ナル事項ヲ明記スルモノトス

第十號書式

差押調書

「通貨」

「何々」

「金」何程
「何」枚

「何」國何郡市何町村大字何何番

「何」郡村宅地何段何畝歩

「此地價金何程」

「此地租金何程」

「本地ハ何國何郡市何町村何某ヘ一箇年地代金何程ニテ何年何月何日ヨリ向フ何箇年間貸與シテ
リ」

(以下之ニ倣ヒ列記ス)

右ハ「何府縣何郡市何町村何某」何「稅」何「年」何「期」分金何程滯納ニ付「何」月「何」日「本」人「又」ハ「本」人不在ニ付同居家族何某「立會」ノ上(國稅徵收法第二十一條ノ立會人ヲ記載ス)前記ノ財産ヲ差押アル者也

「何」稅務署

明治何年何月何日何所ニ於テ此ノ調書ヲ作ル

「官」氏 名「團」

「何府縣何郡市何町村大字何番地」

立會人 「何」某「印」

第十一號書式

送達書
送達シタル書名通數
名宛人ノ住所又ハ居所及氏名
受取人ノ署名捺印

送達シタル日時
受取人ナキトキ又ハ受取人
受取若ハ署名捺印ヲ拒ミタ
ルトキハ其ノ事由

右ノ通取扱候也

使了 「何」某「印」

第十二號書式

計算書

「何」市「何」町「何」大字「何」番地
「何」市「何」町「何」大字「何」番地
「何」市「何」町「何」大字「何」番地
「何」市「何」町「何」大字「何」番地

收 入 高 某

一金「何」程

差 押 通 貨

金「何」程

「何々」公賣代金

金「何」程

支 拂 高

金「何」程

督促手数料及滯納處分費

内 金「何」程

金「何程」
金「何程」
金「何程」

内
金「何程」

金「何程」

金「何程」

内
金「何程」

金「何程」

金「何程」

殘金「何程」
右之通候也

明治「何」年「何」月「何」日

督促手數料

「何」
債權者「何某」へ交付額

元
自「何」年「何」月「何」月利子

滯納
至「何」年「何」月「何」月利子

「何」
「何」年「何」期「分」

「何」
「何」税「何」々

滯納者へ還付スヘキ分

「何」税務署長

「官」氏名「國」

●國稅徵收法ニ依ル公共團體指定ノ件

明治三十三年三月
勅令第四十七號

改正

●明治三十五年三月
勅令第五十五號

●明治三十五年十二月
勅令第二百七十六號

●明治三十六年十二月
勅令第二百八十號

朕國稅徵收法ニ依ル公共團體指定ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

北海道區制ニ依ル區北海道一級町村制及北海道二級町村制ニ依ル町村沖繩縣區制ニ依ル區沖繩縣間切島規程ニ依ル間切島ハ國稅徵收法第三十三條第三項ノ公共團體ト指定ス

附則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル國稅徵集ニ

關スル件

明治三十五年三月
法律第二十三號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル國稅徵集ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

沖繩縣ノ區長、間切長若ハ島長及東京府管内伊豆七島中入丈島、大島及利島ノ名主若ハ一式引受人、三宅島、新島、神津島及御藏島ノ地役人ハ國稅ノ徵集ニ關シ國稅徵收法中滯納處分ノ例ニ依ルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ物品納ノ國稅ニ關スルトキハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ現金ニ換算シテ其ノ怠納額ヲ定ム

附則

本法ハ明治三十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル物品納ノ

國稅現金ニ換算方

明治三十五年六月
大藏省令第十二號

明治三十五年法律第二十三號沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル國稅徵集ニ關スル法律ニ依リ物品納ノ國稅ヲ現金ニ換算シテ念納額ヲ定ムルニハ左ノ價格ニ依ルヘシ

品名	單位	價格	品名	單位	價格	品名	單位	價格
米	一石	九〇八二	砂	百斤	五八九〇	紺縞細上布	一段	五四八七
粟	一石	七三九二	棕	一斤	〇〇五五	紺地細上布	一段	一五三三四
麥	一石	七〇八四	木綿花	一斤	〇〇二五	白縮布	一段	二九七二
黍	一石	一三六三	白上布	一匹	一六四三	白木綿布	一段	〇五七三
胡	一石	九五〇〇	白中布	一段	〇八四八	縞袖及紵袖	一段	六〇九三
下	一石	七五〇〇	白下布	一段	〇七八八	黃	一段	三三一四
大豆	一石	七五〇〇	白細上布	一段	二八〇七	合	一段	七四八五
						絲		
						織		
						絨		

● 沖繩縣及小笠原島伊豆七島國稅徵收方

明治二十二年十二月
勅令第百四十一號

改正

● 明治二十七年六月
法律第十八號

朕沖繩縣及東京府管轄小笠原島伊豆七島ノ國稅徵收ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
沖繩縣及東京府管轄小笠原島伊豆七島ノ國稅徵收ハ會計法實施後左ノ各條ノ外ハ從來ノ慣例ニ依ルヘ
シ

第一條 納税人ハ税金沖繩縣酒類出
港稅ヲ除クヲ金庫ニ拂込ミ其領收證ヲ受クヘシ

第二條 國稅品ハ納税人ヨリ直ニ收入官吏ニ納付スヘシ

第三條 前條國稅品ハ會計法規ニ依リ收入官吏之ヲ取扱ヒ其賣却代金ヲ領收シテ金庫ニ拂込ムヘシ但
稅品ノ會計ハ本稅所屬ノ年度ニ依ル

●國稅徵收事務取扱方

明治三十年七月
大藏省訓令第四十號

改正

●明治三十三年四月
訓令第十七號

●明治三十五年十一月
訓令第四十五號

稅務監督局

國稅徵收事務取扱方左ノ通心得ヘシ

第一條 (明治三十一年二月大藏省訓令第十一號ニテ消滅)

第二條 (同上)

第三條 納税人非常ノ災害ニ罹リタル爲メ當該納期ニ税金ノ徵收ヲ爲シ難キモノアリタルトキハ稅務署長ハ其ノ都度速ニ稅目金額及被害ノ情況ヲ報告シ仍被害調査ノ完了シタルトキ其ノ處分ノ成績ヲ報告スヘシ

前項報告ハ稅務監督局ヲ經由スヘシ

第四條 (消滅)

第五條 滯納處分ヲ執行スルトキハ當該稅務署所轄内ニ在ル財產ヨリ差押フルヲ常例トス但シ其ノ所轄外ニ換價ニ便利ナル財產アリト認ムルトキハ其ノ財產所在地ノ稅務署ニ處分ノ引繼ヲ爲スコトヲ得

滯納處分ヲ執行スルニ當リ當該稅務署ノ所轄外ニ在ル財產ヲ同時ニ差押フルヲ必要ト認ムルトキハ滯納金額ノ一部ヲ分割シ其ノ財產所在地ノ稅務署ヘ處分ノ引繼ヲ爲スコトヲ得

第六條 滯納處分ノ引繼ヲ爲ストキハ滯納者ノ住所氏名、滯納ノ稅目金額、差押フヘキ財產ノ名稱數量並所在ハ勿論其ノ他處分上ノ參考ニ資スヘキ事項ハ成ルヘク詳記シテ其ノ引繼ヲ受クヘキ稅務署ニ送付スヘシ

第七條 滯納處分ノ引繼ヲナシタル稅務署長ハ其ノ金額ヲ調定額ヨリ控除シ其引繼ヲ受ケタル稅務署長ハ其金額ヲ調定濟額ニ組入レ整理スヘシ

第八條 (削除)

第九條 國稅徵收法第二十八條第二項ニ依リ滯納者ノ財產賣却代金ヨリ其ノ負債金額ニ充ツルマテテ質權者又ハ抵當權者ニ交付セムトスル場合ニ異議ヲ申出ルモノアルトキハ其ノ事由ヲ質權者又ハ抵當權者ニ通知シ其ノ和解又ハ裁判確定ノ上之ヲ交付スヘシ

● 鑛業稅及鑛區稅徵收取扱方

明治二十五年四月
大藏省訓令第二十二號

改正

● 明治三十三年四月
訓令第三十七號

● 明治三十七年四月
訓令第二十五號

北海道廳 府 縣

本年六月一日ヨリ鑛業條例施行ニ付鑛業稅及ヒ鑛區稅徵收取扱方左ノ通心得ヘシ
一 稅務署長ハ毎納期前ニ於テ鑛山監督署長ヨリ鑛業人ノ住所氏名及其探掘ニ係ル鑛業製產物ノ價格並ニ鑛區坪數ノ通知ヲ受ケ課稅ノ手續ヲ爲スヘシ但開業廢業其ノ他通知ヲ受クヘキ事項ニ付テハ豫メ鑛山監督署ト協議シ置クコトヲ要ス
一 鑛業稅又ハ鑛區稅ヲ滯納スル者アルトキハ其都度滯納者ノ住所氏名及ヒ稅目金額ヲ稅務署長ヨリ鑛山監督署長ヘ通知セシムヘシ

●國稅徵收事務取扱上諸帳簿及報告書調製方

明治三十一年二月
大藏省訓令第十一號

改正

●明治三十三年四月
訓令第二十號
●明治三十四年八月
訓令第二十九號

●明治三十四年九月
訓令第三十六號
●明治三十五年四月
訓令第三十八號

●明治三十五年十一月
訓令第四十七號
●明治三十六年八月
訓令第三十四號

●明治三十七年四月
訓令第三十八號

稅務監督局

稅務署

國稅徵收事務取扱上諸帳簿及報告書調製方等左ノ通心得ヘシ

第一條 稅務署長ハ第一號書式徵稅簿、第二號書式國稅督促元簿及國稅滯納額整理簿ヲ備ヘ徵稅簿ニ
ハ納期別ニ調定濟額收入濟額不納缺損額收入未濟額、國稅督促元簿ニハ國稅ノ督促ニ關スル事項國
稅滯納額整理簿ニハ國稅滯納處分ニ關スル事項ヲ記入スヘシ

第二條 (削除)

第三條 (削除)

第四條 (削除)
第五條 戶長ニシテ收入官吏タルモノ會計規則第二十五條ニ依リ領收濟ノ報告ヲ爲ス場合ニ於テハ第
四號書式ニ依ルヘシ

第六條 (削除)

第七條 稅務署長ハ徵收簿ニ據リ徵收報告書ヲ調製シ歲入金月計對照表ヲ添ヘ翌月五日マテニ稅務監
督局ヲ經由シ大藏大臣ニ送付スヘシ

第八條 前年度繰越額及調定外誤納額ハ徵收報告書中之ヲ區別記載スヘシ

第九條 收入官吏ハ第六號書式ニ依リ毎月現金拂込仕譯書ヲ調製シ翌月一日限り稅務署長ニ報告スヘ
シ但第六號書式ニ準シタル帳簿ヲ備ヘ之ヲ以テ報告ニ代フルコトヲ得

第十條 (削除)
 第十一條 稅務監督局長第七條ノ報告書ヲ受ケタルトキハ之ニ準シタル集計書ヲ添付シ其月十五日マテニ大藏省ニ送付スヘシ
 第十二條 本訓令ニ據リ備フヘキ諸帳簿ハ明治三十一年度分ヨリ調製スヘシ但シ明治三十年大藏省訓令第三十七號ハ同年度ヨリ廢止ス
 (内竝ニ印章ハ何レモ失)

第一號書式

何 年 度
 何 稅 (目) 第 何 期 又 ハ 隨 時 收 入
 徵 稅 簿

(本簿ハ毎冊合計ヲ附スルモノトス
 但シ適宜合冊トナスモ妨ケナシ)

備考

- 一 本簿ハ市町村ノ徵收スル税金ハ市町村別ニ月長ノ徵收スル税金ハ月長役場別ニ其他ハ各人別ニ納期毎ニ記入スルモノトス但シ隨時收入ニ係ルモノハ別冊ニ調製スルモノトス
- 二 納額通知書、納稅告知書若クハ納額異動通知書ヲ發スルトキハ印ノ如ク調定外課納アリタルトキハ印ノ如ク記載スルモノトス
- 三 金庫ヨリ税金領收濟ノ通知ヲ受ケタルトキハ印ノ如ク收入官吏ヨリ税金收入ノ通知ヲ受ケタルトキハ印ノ如ク税金ノ損失ニ歸シタルモノアルトキハ印ノ如ク記載スルモノトス
- 四 滞納處分ノ引續キナシタルトキハ印ノ如ク記載スルモノトス
- 五 前年度ヨリ繰越ニ係ル税金及滞納處分ノ引續キ受ケタルモノハ別冊ニ調製整理スルヲ要ス

六 隨時收入ニ係ルモノハ摘要欄内ニ納期日ヲ記入スルモノトス
 七 砂糖消費稅毛糖物消費稅及石油消費稅ニ付テハ各人別ニ口取ヲササ摘要ニ人名ヲ記入整理スルモ妨ケナシ但現金ヲ以テ收入セシモノハ之ヲ別冊ニ調製シ收入官吏ノ收入濟額報告書ニ依リテ調定濟額收入濟額ヲ登記スルコトヲ得

何 市 町 村
 又ハ何市町村何某

年月日	摘 要	調定額	收入額	缺損額	未收入額
何月何日	第何號納額通知書又ハ納稅告知書ヲ發ス	① 1000000			1000000
何月何日	何々ニ依リ増第何號納額通知書又ハ納稅告知書ヲ發ス	① 1000000			1000000
何月何日	領收濟通知書ヲ受ク		② 1000000		1000000
何月何日	何々ニ依リ調定外課納ノ分	③ 100000			100000
何月何日	何々ニ依リ減額ノ通知ヲナス又ハ第何號納稅告知書訂正減額	④ 500000			600000
何月何日	收入官吏ヨリ領收濟ノ報告ヲ受ク		⑤ 200000		800000
何月何日	何々ニ依リ缺損			⑥ 300000	1000000
何月何日	何稅務署ヘ滞納處分ノ引續キヲナス	⑦ 100000			0

第二號書式甲

國稅督促一元簿

第一號	六月一日	督促狀發付月日	督促料	稅目(項)	稅額	額末	住所氏名
第一號	六月五日	指定期限	〇〇〇	地租	五〇〇	六月四日納付済又ハ收入済	何市何町何々何番地 何 某

備考

- 一 督促狀ヲ發スルトキハ其ノ時々本簿ヘ登記スルモノトス
- 二 督促狀指定ノ期限内ニ督促料及税金ヲ納付セス滞納處分ヲ要スルモノハ之ヲ滞納額整理簿ヘ移記シ本簿額末欄内ニ其ノ旨ヲ又他稅務署ニ引繼ヲ爲シタルモノハ同欄内ニ其ノ局署名及必要ノ事項ヲ朱記スルモノトス
- 三 本簿ハ項別ニ調製シタルトキハ稅目(項)ノ欄ヲ省略スルコトヲ得

第二號書式乙

國稅滯納額整理簿

第六月一日	六月五日	營業稅	後期	營業	一〇〇〇	「整理簿へ移記ス」	何市何町何々何番地 何 某
第二號	八月二日	酒稅	第一期	酒造	七〇〇〇	「整理簿へ移記ス」	何市何町何々何番地 何 某
第三號	十月一日	地租	第一期	畑地	三〇〇	十月五日納付済又ハ收入済	何市何町何々何番地 何 某
第四號	十月五日	所得稅	前期	所得	六〇〇	何月何日何「稅務管理局」何「稅務署」何「引繼」	何市何町何々何番地 何 某
第五號	十月五日	前期	所得	所得	六〇〇	何月何日何「稅務管理局」何「稅務署」何「引繼」	何市何町何々何番地 何 某

備考
 一 滞納處分ノ額未ハ其ノ時々月日及要件ヲ記入スルモノトス
 二 滞納處分ノ引繼ヲ爲シタルモノハ額未欄内ニ其ノ旨ヲ朱記スルモノトス
 三 滞納處分ノ引繼ヲ受ケタルモノハ別ニ口座ヲ設ケテ整理シ其ノ旨ヲ額未欄内ニ記入スルモノトス
 四 督促狀ヲ發セシメシテ滞納處分ヲ爲シタルモノハ其ノ事山ヲ額未欄内ニ記入シ督促狀發給及督促手数料ノ欄ニ斜線ヲ登スルモノトス

號	督促 狀番	稅目(項)	納期	指定期限	稅額		督促料		滞納處分ノ額未	住所氏名
					分	費	分	料		
第 二 號	後 期	營業稅	六月五日		10000	0000	0000		何 某	何 市 何 町 何 何 番 地
第 三 號	第 一 期	酒 稅	八月二日		700000	0000	35000		何 某	何 市 何 町 何 何 番 地

第三號書式 (削除)
 第四號書式 (削除)

「何」月分第「何」號收入濟額報告書

年 度	納 期	區 分	科 目	收 入 濟 額
何 年 度	何	何	何々(稅目)	一〇〇〇〇〇
同	何	々	何々	五〇〇〇〇

年 月 日

收入官吏「官(何村戸長)氏名」圖

第五號書式
 第六號書式

「何」年「度」歳入租稅
 「何」年「何」月分現金拂込仕譯書

前月迄拂込未濟	摘要	金額	備考
		5000	

本月中現金領收高	二〇〇〇〇
計	二〇五〇〇
本月中現金拂込高	二〇〇〇〇
差引翌月へ越	五〇〇〇

年月日

收入官吏官(何村戸長)氏名 圓

「何」(稅務管理局長)氏名 宛

第七號書式 (削除)

●市町村ニ於テ徵收スヘキ國稅ニ關スル件

明治三十年六月 勅令第百九十五號

改正

●明治三十二年五月 勅令第百二十九號

●明治三十三年三月 勅令第四十八號

●明治三十三年四月 勅令第百四十五號

既市町村ニ於テ徵收スヘキ國稅ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
左ノ諸稅ハ市町村ニ於テ徵收スヘシ

- 一 第三種ノ所得ニ係ル所得稅
- 二 營業稅
- 三 自家用醬油稅
- 四 賣藥營業稅
- 五 北海道地方稅

附則

本令ハ明治三十年七月一日ヨリ施行ス

●市制町村制未施行地ノ國稅徵收事務取扱方

明治三十年六月
大藏省訓令第三十九號

改正

●明治三十一年七月
訓令第五十一號

●明治三十三年四月
訓令第十五號

●明治三十五年十一月
訓令第四十四號

●明治三十七年四月
訓令第十七號

〔稅務管理局〕收入官吏 金庫出納役

市制町村制未施行地ノ國稅徵收事務取扱方左ノ通心得ヘシ

第一條 稅務署長ハ地租名寄帳及地租收納簿ヲ備ヘ地租名寄帳ニハ明治二十七年大藏省訓令第十一號

書式甲號ニ準シ納人別ニ稅務署所在地ノ地租ニ關スル事項、地租收納簿ニハ別記書式ニ據リ納人別

ニ稅務署所在地ノ地租徵收ニ關スル事項ヲ記入スヘシ

第二條 戶長ハ現金出納簿ノ外從前ノ様式ニ據リ地租名寄帳、徵稅元帳、收納簿、國稅金收納集計簿

ヲ備ヘ稅金ノ徵收ニ關スル事項ヲ記入スヘシ

第三條 戶長ハ稅務署長ヨリ納額ノ通知ヲ受ケタルトキ地租ハ之ヲ收納簿ノ租額合計ニ對照シ徵稅元

帳又ハ納額通知書ヘ添付ノ一人別仕譯書ニ據リ各納人ノ納額ヲ收納簿ヘ記入シ之ニ依リ納稅告知書

ヲ調製シテ各納稅人ヘ發送スヘシ

第四條 戶長ハ納稅人ヨリ稅金ヲ領收シタルトキハ收納簿、現金出納簿ニ記入シ其ノ稅金ハ出納官吏

現金取扱規則第二章第三章ニ依リ取扱フヘシ但シ現金拂込書及接續領收證書通知書ノ各金額ノ肩書

ニ納額通知書ノ番號ヲ記入スヘシ

第五條 (削除)

第六條 (削除)

第七條 (削除)

第八條 (削除)

第九條 前各條ノ外ハ一般ノ取扱例ニ依リ處理スヘシ

別記書式

地租收納簿

「何」税務署

備考

- 一 本簿ハ郡村宅地租、雑地租ノ外ハ目毎ニ區別シ各目ノ合計ヲ付スルヲ要ス但シ合計ハ徵稅簿ノ書式ニ準シテ整理スルモノトス
- 二 本簿ハ地租名寄帳ノ地租計額ヲ各納人別ニ明治三十五年法律第二十二號ニ依リ各納期ニ區分シ印ノ如ク記入シ納額ノ異動ニ係ルモノハ増額ハ㊦印ノ如ク減額ハ㊧印ノ如ク記入スルモノトス
- 三 金庫ヨリ税金領收済ノ通知ヲ受ケ又ハ現金ニテ收入ヲ爲シタルトキハ㊨印ノ如ク記入シ滞納處分ニ依リ收入又ハ缺損ニ歸シタルモノハ㊩印ノ如ク記入スルモノトス
- 四 納期經過後地價額ニ異動ヲ生シ次ノ納期ニ於テ税金金額拾錢以下ナルモノナリ時ニ又ハ各納期ノ納額錢位未滿ノ端數ヲ合算徵收スルトキハ該金額事由ヲ氏名欄ノ餘白ニ掲上シ他日計算ノ便ニ供スヘシ
- 五 本簿ニハ末尾ニ別ニ各納期ノ租額合計ヲ附シ異動アル毎ニ之ヲ整理シ之ニ依リ稅務署ニ各納期ノ地租額ヲ報告スルモノトス

甲號

期 一 第	期 二 第	期 一 第	郡村宅地租	雑地租	計	氏名
① 金何程○ ② 内金何程○減 ③ 殘金何程○	① 金何程○ ② 金何程○増 ③ 計金何程○	① 金何程○ 「取扱主」任ノ印 ② 金何程○以下皆同	① 金何程	① 金何程○	① 第何號 金何程○ ② 第何號 金何程○増 ③ 計金何程 何月何日領收	
① 第何號 金何程○ ② 内金何程○減 ③ 殘金何程○ 何月何日領收濟通 知書ヲ受ク	① 第何號 金何程○ ② 第何號 金何程○増 ③ 計金何程 何月何日領收	① 第何號 金何程○ ② 金何程○ 何月何日領收又ハ 領收濟通知書ヲ 受ク				

丙號 北海道地租	第 「一」 期 第 「三」 期 氏 名	前年第六期	第 三 期	第 四 期	第 五 期 氏 名	第 ① 金何程○
						第 ① 金何程○
						第何號 金何程○ ② 何月何日滯納處分 = 依リ收入又ハ缺 損

●税金分納及滯納報告後督促狀發布前納付書ニテ

納入方

明治三十年十月
大蔵省訓令第六十五號

〔稅務管理局〕

納稅人税金ノ分納ヲ爲サントシ又ハ市町村ヘ納付スヘキ國稅ニシテ納期限ヲ過キ市町村ヨリ滯納報告
以後督促狀發付以前ニ於テ該税金ヲ上納セントスルモノアルトキハ國稅徵收法施行細則第六條第二項
ニ準シ税金ニ納付書ヲ添付シ金庫又ハ收入官吏ニ納付セシムヘシ

●租税其他ノ缺損額臺帳整理方

明治二十四年十一月
大藏省訓令第百七十九號

北海道廳 府 縣

租税其他ノ缺損額臺帳ヲ備ヘ盜難等ニ因リ缺損ヲ生シタルトキハ該金額及事由ヲ之ニ記載シ置キ其整理ヲ爲スヘシ
但毎年度ノ始メニ於テ前年度末ノ現在額及其一週年度中増減セシ金額事由等ヲ右臺帳ニ據リ取調ヘ適宜製表ノ上四月三十日限リ報告スヘシ

●第二節 府縣稅

●府縣稅徵收ニ關スル件

明治三十三年三月
勅令第八十一號

改正

●明治三十五年七月
勅令第七十三號

朕府縣稅徵收ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 市町村ハ其市町村内ノ府縣稅ヲ徵收シ之ヲ府縣ニ納入スルノ義務ヲ負フ

前項府縣稅ノ徵收ニ關シテハ地租ノ附加稅ヲ除クノ外徵收金額百分ノ四ヲ其ノ市町村ニ交付スヘシ

第二條 市町村ハ避クヘカラサル災害ニ因リ既收ノ稅金ヲ失ヒタルトキハ其ノ稅金納入義務ノ免除ヲ

府縣知事ニ申請スルコトヲ得

第三條 府縣知事前條ノ申請ヲ受ケタルトキハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ決定書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ十四日以内ニ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ決定ニ關シテハ府縣知事ヨリモ亦訴願ヲ提起スルコトヲ得

第四條 府縣稅ヲ徵收セムトスルトキハ府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員ハ市町村ニ對シ徵稅令書ヲ發シ市町村長ハ徵稅令書ニ依リ徵稅傳令書ヲ調製シ之ヲ納稅人ニ交付スヘシ

府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員ハ直ニ納稅人ニ對シ徵稅令書ヲ發スルコトヲ得

第五條 徵稅傳令書ヲ受ケタル納稅人ハ其ノ稅金ヲ市町村ノ收入役ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ納稅ノ義務ヲ了ス

徵稅令書ヲ受ケタル納稅人ハ其ノ稅金ヲ府縣金庫ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ納稅ノ義務ヲ了ス
市町村ハ其ノ徵收シタル府縣稅ヲ府縣金庫ニ拂込ミ其ノ領收證ヲ得テ稅金納入ノ義務ヲ了ス

第六條 徵稅傳令書ヲ受ケタル納税人納期内ニ税金ヲ完納セサルトキハ市町村長ハ其ノ滞納ノ税目、金額及滞納人ノ住所氏名其ノ他必要ナル事項ヲ記載シ之ヲ徵稅令書ヲ發シタル官吏吏員ニ報告スヘシ

徵稅令書ヲ發シタル官吏吏員前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ督促狀ヲ發スヘシ徵稅令書ヲ受ケタル納税人納期内ニ税金ヲ完納セサルトキ亦同シ

督促狀ニハ府縣知事ノ定メタル期間内ニ於テ相當ノ期限ヲ指定スヘシ

第七條 督促狀ヲ發シタルトキハ手数料ヲ徵收ス

手数料ノ額ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

市町村長ヨリテ督促狀ヲ發セシメタルトキハ手数料ハ之ヲ其ノ市町村ニ交付スヘシ

第八條 納税人左ノ場合ニ該當スルトキハ徵稅令書又ハ徵稅傳令書ヲ交付シタル府縣稅ニ限り納期前ト雖之ヲ徵收スルコトヲ得

- 一 國稅徵收法ニ依ル滞納處分ヲ受クルトキ
- 二 強制執行ヲ受クルトキ
- 三 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ
- 四 競賣ノ開始アリタルトキ
- 五 法人カ解散ヲ爲シタルトキ
- 六 納税人脫稅又ハ逋稅ヲ謀ルノ所爲アリト認ムルトキ

第九條 相續開始ノ場合ニ於テハ府縣稅、督促手数料及滞納處分費ハ相續財團又ハ相續人ヨリ之ヲ徵收ス但シ戸主ノ死亡以外ノ原因ニ依リ家督相續ノ開始アリタルトキハ被相續人ヨリモ之ヲ徵收スルコトヲ得

國籍喪失ニ因ル相續人又ハ限定承認ヲ爲シタル相續人ハ相續ニ因リテ得タル財産ヲ限度トシテ府縣稅、督促手数料及滞納處分費ヲ納付スルノ義務ヲ有ス

第十條 共有物、共同事業又ハ共同事業ニ因リ生シタル物件ニ係ル府縣稅、督促手数料及滞納處分費ハ納税者連帶シテ其ノ義務ヲ負擔ス

第十一條 同一年度ノ府縣稅ニシテ既納ノ税金過納ナルトキハ爾後ノ納期ニ於テ徵收スヘキ同一稅目ノ税金ニ充ツルコトヲ得

第十二條 納稅義務者納稅地ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ納稅ニ關スル事項ヲ處理セシムル爲メ納稅管理人ヲ定メ郡長又ハ市長ニ申告スヘシ其ノ納稅管理人ヲ變更シタルトキ亦同シ

第十三條 徵稅令書、徵稅傳令書、督促狀及滞納處分ニ關スル書類ハ名宛人ノ住所又ハ居所ニ送達ス名宛人カ相續財團ニシテ財産管理人アルトキハ財産管理人ノ住所又ハ居所ニ送達ス

納稅管理人アルトキハ納稅ノ告知及督促ニ關スル書類ニ限リ其ノ住所又ハ居所ニ送達ス

第十四條 書類ノ送達ヲ受クヘキ者其ノ住所又ハ居所ニ於テ書類ノ受取ヲ拒ミタルトキ若ハ其住所、居所共ニ不明ナルトキハ書類ノ要旨ヲ公告シ公告ノ初日ヨリ七日ヲ經過シタルトキハ書類ノ送達アリタルモノト看做ス

第十五條 府縣稅ノ徵收期ハ府縣知事之ヲ定ム

第十六條 市制町村制ヲ施行セサル地ニ於ケル府縣稅ノ徵收ニ關シテハ本令ノ規定ヲ準用ス其ノ準用シ難キ事項ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

第十七條 本令ニ關スル細則ハ府縣知事之ヲ定ム

附 則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●北海道地方税徴収方ノ件

明治三十年十二月
大蔵省訓令第八十一號

北海道地方税ハ國稅徴收ノ規定ニ依リ取扱フヘキ儀ト心得ヘシ

金庫出納役

◎第四節 帳簿、報告様式

●市町村ニ備フヘキ國稅金徵收簿其他一人別徵收

元帳様式 明治二十七年二月
大藏省訓令第十一號

改正 ●明治三十七年四月
訓令第十六號

府 縣

市町村ニ備フヘキ國稅金徵收簿其他一人別徵收元帳ハ別冊様式ニ準據シ漸次調製セシムヘシ
但別冊ハ主稅局ヨリ送付ス
(別冊)

地租名寄帳

何市(區)役所
何郡
何町(村)役場

凡例

一 田租、郡村宅地租、市街宅地租及雜地租(田、郡村宅地、市街宅地以外ノ土地ニ係ル地租)ノ四科目

甲號

- 一 區分シ甲號様式ニ倣ヒ納期毎ニ現在額ヲ整理スヘシ但シ前納期後異動ナキモノハ重テ現在額ヲ掲記スルヲ要セス
 - 二 土地所有者ニシテ其土地所在ト同府縣内ノモノハ其府縣名同郡市内ノモノハ其郡市名同町村ノモノハ其町村名ノ記入ヲ省略スヘシ
 - 三 土地所有者ニシテ其地所在ノ町村役場所轄外ニ住居スルモノハ明治十八年大藏省達第二十九號ニヨリ代納人ヲ爲届出之ヲ所有主ノ傍ラニ朱書スヘシ
 - 四 家督相續若クハ遺産相續及改姓名又ハ代納人交換等ノトキハ便宜之ヲ更正スヘシ
 - 五 地目ノ欄ハ雜地租中ノ每地目ヲ記入シ其他ハ記入ヲ省略スヘシ
 - 六 地租ノ欄ハ現在額ヲ整理スル場合ニ於テノミ記入スルモノトス
 - 七 賣買及質入質取其他異動ニ係ルモノ、増ハ墨書減ハ朱書スヘシ
 - 八 各科目毎ニ地租名寄帳ノ末尾ニ段別地價地租ノ合計ヲ附シ異動アル毎ニ之ヲ整理シ之ニ依リ稅務署ニ地價地租ノ報告ヲ爲スモノトス
 - 九 乙號様式ハ府縣稅市町村稅等ヲ徵收スル場合ニ於テ其ノ納期毎ニ整理スルモノトス但シ前納期後異動ナキモノハ重テ現在額ヲ掲記スルコトヲ要セス
 - 十 乙號様式中地租欄ニハ定率ニ依ル地租額ヲ掲記スルモノトス
 - 十一 田、郡村宅地、市街宅地以外ノ土地中地租納期ヲ異ニスルモノアル地方ニ於テハ適宜第一項ニ準シテ帳簿ヲ整理スルモノトス
- 甲號様式中地租ノ欄劃ヲ定率増徴計ノ三欄ニ區分ス

(表中△印アルハ朱字又町或ハ圓位ヲ限ル横線ハ別ニ印ナ付セサルモ朱線ナリ)

及現在異動額	大字	番	字	地目	段	別	地	價	地	租	摘	要
荒地起返								△ 9000	△ 810000	△ 20350		何年何月何日許可
現在一月一日								10000	960000	33500		何年何月何日許可
買得								10000	1710000	43750		何年何月何日何之
質取								11370	1037600	5198		何年何月何日何之
質入								11370	116100	2963		何年何月何日何之
△質入								9000	810000	21035		何年何月何日何之
何年何月何日								13600	1215000	30601		何年何月何日何之
現在額												

何府縣何郡市町村大字何番地
 之
 △代納人大字何々何番地
 之
 誰
 誰

- ヲ爲スハ前項ニ同シ
- 三 減額ノ達ヲ受ケタルトキハ㊦印ノ如ク記載シ其納稅告知書ヲ訂正スルモノトス
 - 四 國稅金ヲ領收シタルトキハ㊧印ノ如ク記載シ收入役檢印スルモノトス
 - 五 滯納者ノ報告ヲ爲シタルトキハ一人別ニ㊨印ノ如ク朱記スルモノトス
 - 六 地租ニ關シテハ地租名寄帳ノ地租計額ヲ明治三十五年法律第二十二號ニ依リ各納期ニ區分記入スルモノトス
 - 七 納期經過後地價額ニ異動ヲ生シ次納期ニ於テ稅金全額十錢以下ナルモノヲ一時ニ徵收シ若ハ各納期ノ納額餘位未滿ノ端數ヲ合算徵收シタルトキハ該金額事由ヲ氏名欄ノ餘白ニ掲上シ他日計算ノ便ニ供スヘシ
 - 八 地租ノ收納簿ニハ末尾ニ各納期ノ租額合計ヲ附シ異動アル毎ニ之ヲ整理シ之ニ依リ稅務署ニ各納期ノ地租額ヲ報告スルモノトス
- 第二號隨時收入國稅收納簿
- 一 隨時收入ニ係ル國稅ノ納額通知書ヲ受ケタルトキハ㊩印ノ如ク記載スヘシ但其納稅告知書ヲ作リ割印ヲ爲スハ第一號ニ同シ
 - 二 國稅金ヲ領收シタルトキハ㊪印ノ如ク記載スルモノトス
- 第三號國稅金收納集計簿
- 一 本簿ハ日々收納簿ヘ登記セシ金員ヲ集計シテ記載スルモノトス
 - 二 納稅告知書ヲ發セシトキハ㊫印ノ如ク記載シ増額ノ爲メ追加納稅告知書ヲ發セシトキハ㊬印ノ如ク記載シ減額ノ達ヲ受ケタルトキハ㊭印ノ如ク記載スルモノトス
 - 三 日々領收スル國稅金ハ㊮印ノ如ク記載シ納額ヨリ領收額ヲ控除セシ差額ヲ未納ノ區ヘ記入スル

モノトス

- 四 國稅金ヲ金庫ヘ納付スルトキハ㊯印ノ如ク(金額ハ領收ノ區ヘ)朱記スルモノトス
- 五 滯納報告ヲ爲シタルトキハ㊰印ノ如ク(金額ハ納ノ區ヘ)朱記スルモノトス

(此帳簿ハ地租ノ第一二冊ヲ除ク外目等ニ關スヘシ但紙數ノ少ナキモノハ合綴シ見出チ付スルモ妨ナシ)

第一號

明治何年度 國稅金收納簿

何市(區)役所
何郡
何町(村)役場

備考

- 一 郡村宅地租、雜地租ハ第一樣式田租ハ第二樣式市街宅地租、延納年賦、所得稅、營業稅、自家用醬油稅ハ第三樣式ニ據ルモノトス但延納年賦ハ前半年分後半年分ヲ改租、罹災其他トス
- 二 賣藥營業稅ハ第三樣式ニ據ル但前半年分後半年分前半年分トス

第一

期二第	期一第	期二第	期一第	
金何程〇	金何程〇 内金何程〇 減 殘金何程〇	金何程〇 金何程〇 計金何程〇 増	金何程〇 金何程〇	郡村宅地租 ①收入役印以下皆同 ②
金何程〇	金何程〇	金何程〇	金何程〇	雑地租
何月何日滞納報告 第何號 金何程〇	何月何日領收 第何號 金何程〇 減 内金何程〇 第何號 殘金何程〇	計 何月何日領收 第何號 金何程〇 増 第何號 金何程〇	何月何日領收 第何號 金何程〇	計
				氏名

二〇ノ八

第二

第三

前年第六期	第三期	第四期	第五期	氏名
前半年分	後半年分	氏名		
<p>第二號 明治何年度 隨時收入諸稅收納簿</p> <p>何市(區)役所 何郡 何町(村)役場</p>				

第三篇 財政 第七章 收入 第四節 賦課、報告様式

二〇ノ九

税目	告知番號		金額	領收月日	氏名
	納期	番號			
何(目)税	第何號	何月何日	金何程〇	何月何日	大字番地何某

明治何年度
國稅過誤納金整理簿

何市(區)役所
何郡
何町(村)役場

備考

- 一 國稅金ヲ金庫ヘ納付シタル後過誤納ヲ發見シタルトキハ一人別ニ事由科目納期金額納人氏名ヲ記載スヘシ
- 二 前項金額下戻請求月日仕拂命令受領月日現金交付月日ニハ市町村長若クハ代理者ニ於テ夫々認印スヘシ
- 三 過年度ニ屬スル過誤納金ハ別ニ口坐ヲ設ケ整理スヘシ但納期トアル欄ヲ元年度トス

國稅過誤納金

過誤納ノ事由	科目	納期	金額	納人	整理年月日
				下戻請求 仕拂命令受領 現金交付	

(様式中△印アルハ朱字)

(此帳簿ハ毎納期各自ニ區分シ合級シテ見出チ附スヘシ但隨時收入ノ項毎ニ口取ヲナスモノトス)

第三號

明治何年度

國稅金收納集計簿

何市(區)役所
何郡
何町(村)役場

何月何日	告知書發付	金 ^① 何程〇	金 ^① 何程〇	金何程
何月何日	領收濟	金 ^② 何程〇	金 ^② 何程〇	金何程
何月何日	告知書發付	金 ^③ 何程〇	金 ^③ 何程〇	金何程
何月何日	告知書發付	金 ^④ 何程〇	金 ^④ 何程〇	金何程
何月何日	領收濟	金 ^⑤ 何程〇	金 ^⑤ 何程〇	金何程
何月何日	減額達書	金 ^⑥ 何程〇	金 ^⑥ 何程〇	金何程
何月何日	何人分滯納報告	金 ^⑦ 何程〇	金 ^⑦ 何程〇	金何程

110/114

●府縣稅滯納處分報告表

明治三十四年八月
大藏省訓令第三十號

改正 ●明治三十六年八月
訓令第三十五號

明治三十一年^四大藏省訓令第二十九號府縣稅滯納處分報告表書式左ノ通更正候條翌年度八月三十一日迄ニ其地ヲ差立當省ヘ送付スヘシ

何年度府縣稅滯納處分報告表

府 縣 名

稅目	稅額		地租割	營業稅	何々	何々	合計
	人員	稅額					
稅額	督促狀ヲ發シタルモノ	財產ノ差押テ爲シタルモノ					
處分決行徵收セシモノ							
稅金缺損ノモノ							
翌年度ニ繰越ノモノ							

備考

- 一 會計年度ニ依リ翌年度七月末日マテニ處分セシ結果ヲ揭タルモノトス
- 二 一人ニシテ二稅以上ノ稅金ヲ滯納セシモノアルトキハ其一方ノ人員ヲ發書シ他ハ未嘗スヘキモノトス
- 三 年度内ニ處分完結ニ至ラスシテ翌年度ニ繰越タルモノハ翌年度報告ノトキ別表ニ調製シ追報スヘシ

但其ノ第三欄ハ前年度ヨリ繰越ト記載スルモノトス
四 滞納處分ノ嘱托ヲ爲シテ徵收シタルモノアルトキハ相當欄ニ合記シ尙ホ其税額人員ヲ備考ニ附記スヘシ

●北海道地方費滞納處分報告表調製方

明治三十六年十月
大藏省訓令第四十三號

北 海 道 廳

明治三十四年八月大藏省訓令第三十號及同三十六年八月大藏省訓令第三十五號府縣稅滞納處分報告表調理
方ニ準シ北海道地方費滞納處分報告表ヲ調製シ翌年度八月三十一日迄ニ其地ヲ差立當省ヘ送付スヘシ
但明治三十五年度分ハ本年十一月十五日迄ニ送付ヲ要ス

第五節 關稅及稅外

●關稅噸稅及稅關雜收入取扱規程 明治三十二年七月 大藏省訓令第五十三號

改正

●明治三十三年四月 訓令第十九號

●明治三十四年六月 訓令第十九號

●明治三十七年四月 訓令第十三號

稅關 稅務 監督局

關稅噸稅及稅關雜收入取扱規程左ノ通り相定メ明治三十二年八月四日ヨリ施行ス

關稅噸稅及稅關雜收入取扱規程

第一條 關稅噸稅ノ納稅告知書ハ第一號書式ニ據リ稅關雜收入ノ納入告知書ハ同書式ニ準シ調製スヘシ

第二條 (削除)

第三條 關稅法第六條ニ依リ擔保トシテ提供シタル金錢ヲ以テ關稅ニ充テントスルトキハ稅關長又ハ稅關支署長ハ供託受領證等ニ第二號書式ノ證明書ヲ添ヘ之レヲ金庫ニ提出シ關稅拂込ノ手續ヲナスヘシ

第四條 貨物ノ検査ヲ爲シタル收稅官吏ニ於テ現金ヲ以テ關稅ヲ徵收シタルトキハ稅關所屬ノ收入官吏トシテ其ノ事務ヲ處理スヘシ

第五條 關稅噸稅及稅關雜收入徵收ノ事務ハ規定ノ帳簿ノ外第三號書式ニ據リ納額整理簿ヲ備ヘ整理ヲナスヘシ

第六條 收入官吏ハ會計規則第二十五條ニ依リ領收濟ノ報告ヲナストキハ稅關支署管轄内ニアリテハ稅關支署長ヲ經由シ其他ハ直接ニ稅關長ニ報告スヘシ

領收證書

番號 [何] 年度 [何] 稅目 [何]

納 誰 何

金庫取扱主任印
Y1,000,000

明治 [何] 年 [何] 月 [何] 日 領收

[何] 金庫 圓

金庫 割印

番號

經常 租

明治 [何]

[何] 稅 關

通知書

ハ又ハ關稅支署
ハ又ハ關稅支署
[何] 稅目 [何] 稅項 [何] 年度 [何] 稅

納 誰 何

金庫取扱主任印
Y1,000,000

年 [何] 月 [何] 日 領收

[何] 金庫 圓


長 氏 名 殿

用紙適宜輪廓縦三寸ノモノ三枚接續

第一號書式

第七條 收入官吏ハ第四號書式ニ據リ毎月現金拂込仕譯書ヲ調製シ翌月一日限リ稅關支署長ヲ經由シ又ハ直接ニ稅關長ニ報告スヘシ但稅關及稅關支署在勤ノ收入官吏ハ第四號書式ニ準シタル帳簿ヲ備ヘ之ヲ以テ報告ニ代フルコトヲ得
第八條 稅關支署長ハ納額整理簿ノ結果ニ依リ明治二十三年大藏省令第三十二號第四號書式ニ準シ徵收報告書ヲ調製シ翌月五日迄ニ稅關長ニ送付スヘシ
第九條 稅關長ハ徵收簿ニ依リ徵收報告書ヲ調製シ歲入金月計對照表ヲ添ヘ翌月十五日迄ニ大藏省ニ送付スヘシ

納 稅 告 知 書

番號	何 年 度	大 藏 省 主 管
經 常	租 稅	何 稅 項
何 稅 關 所 屬	何 稅 關 支 署 扱	何 稅 目
何 之 誰 納		
 何 金 庫 (即 時) 納 付 明 治 何 年 何 月 何 日 何 稅 關 長 氏 名 圖 又ハ 何 稅 關 支 署 長 氏 名 圖		

金庫
割印

備 考

- 一 金額及番號ハ越テ亞爾比亞數字ニテ正確ニ記入スヘシ
- 二 領收證書ニ限リ必要アルトキハ邦文ニテ金額ヲ記入スルコトヲ得
- 三 稅關直接ノ扱ニ係ルトキハ納稅告知書式中「何」稅關支署扱欄ニ斜線ヲ畫スヘシ

第二號書式

證 明 書

供託受領證第「何」號ノ分
 又ハ
 供託受領證第「何」號金「何程」ノ内
 一金「何程」
 右ハ關稅法第六條ニ依リ關稅ニ充テタルヲ以テ拂渡ヲ要シ候也
 明治何年何月何日

何 稅 關 長 「氏 名」 圖
 又ハ
 何 稅 關 支 署 長 「官 氏 名」 圖

備 考

- 一 供託受領證ニ連以上ナルトキハ之ヲ列記スルモ妨ケナシ

「何金庫宛」

第三號書式

第四號書式

「何」年度歳入經常部
「何」年「何」月分現金拂込仕譯書

摘要
前月迄拂込未済
本月中現金領收高
計
本月中現金拂込高
差引翌月へ越

一〇〇五〇〇〇	一〇〇五〇〇〇	一〇〇五〇〇〇
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇

年月日

「何」税關長「氏名」宛

備考

本書ハ租税ト租税外トニ分チ別紙ニ開列スルヲ要ス

收入官吏「官氏名」宛

考

(納額整理簿)

何々(款) 何々(項) 何々(目)

調月	定日	摘要	告知書番號	納人ノ氏名	調定額	收入済月日	收入備考
何	何	何々	第何號	何 某	500,000	即日	何々 不納ニ付供託 金ヲ以テ收入 收入官吏ノ領 收済通知ヲ受 ケ
何	何	何々	第何號	何 某	50,000	何月何日	
何	何	何々		何 某	300,000	即日	
		何月何日計			850,000		
何	何	何々		何 某	600,000	即日	何々
何	何	何々	第何號	何 某	50,000	”	
		何月何日計			650,000		
		累 計			1,500,000		

●諸收入收納取扱規程

明治三十三年四月
大藏省訓令第二十七號

改正

●明治三十三年十月
訓令第六十二號

●明治三十四年四月
訓令第十二號

●明治三十四年六月
訓令第二十號

●明治三十五年十一月
訓令第四十六號

警視廳 北海道廳 府 縣
税 關 稅務監督局 稅務署

明治二十六年大藏省訓令第四十二號諸收入收納取扱規程左ノ通り改正シ明治三十三年度ヨリ施行ス

諸收入收納取扱規程

- 第一條 警視廳北海道廳府縣稅務監督局及稅務署ニ於テ收納スル國稅外ノ諸收入ハ大藏省主管トシテ特別ノ規定アルモノヲ除クノ外此規程ニ依リ取扱フヘシ但監獄ノ收入ハ此限ニ在ラス
- 第二條 各廳長官ハ諸收入ヲ徵收セントスルトキハ特別ノ規定アルモノヲ除クノ外十五日以内ニ於テ適宜納期日ヲ定メ各納人ニ對シ別記書式ノ納入告知書ヲ發スヘシ但シ納人ヲシテ收入官吏ニ即納セシムル場合ニ於テハ納入告知書ヲ發スルコトヲ要セス
- 第三條 各廳長官ハ其所屬部署長、官立學校長及北海道廳所管鐵道各驛主席官吏ニ委任シテ諸收入收納事務ヲ分掌セシムルコトヲ得
- 第四條 納入告知書ハ納人ヲシテ納金ヲ納付スルトキ之ヲ添付セシムヘシ
- 第五條 各廳長官ハ納金ヲ其期限内ニ納付セサルモノアルトキハ直チニ督促シ尙ホ完納ニ至ラサルトキハ速ニ相當ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第六條 收入官吏ハ毎月現金拂込仕譯書ヲ調製シ各廳長官ニ報告スヘシ
- 第七條 各廳長官ハ徵收簿ニ據リ徵收報告書ヲ調製シ歲入金月計對照表ヲ添ヘ稅務署長ハ翌月五日マ

テニ其ノ他ハ翌月十五日マテニ大蔵省ニ送付スヘシ
 稅務署長ノ提出スル徵收報告書ハ稅務監督局ヲ經由スヘシ
 稅務監督局長前項ノ報告書ヲ受ケタルトキハ徵收報告書ニ準シタル集計書ヲ添付シ其月十五日マテ
 ニ大蔵省ニ送付スヘシ
 第八條 諸收入ノ徵收事務ニ關スル取扱手續及帳簿報告等ノ書式ハ適宜之レヲ定ムヘシ
 第九條 本規程中各廳長官ニ關スル規程ハ北海道支廳長ニ準用ス
 北海道支廳長ノ提出スル徵收報告書ハ北海道廳ヲ經由スヘシ
 北海道廳長官前項ノ報告書ヲ受ケタルトキハ徵收報告書ニ準シタル集計書ヲ添付シ大蔵省ニ送付ス
 ヘシ

(別記)

備考

領收證書及報告書(通知書)用紙ノ納入金額納入年度種類等ハ總テ納入告知書發行廳ニ於テ記入スルモノトス
 用紙適宜(縦四寸五分ノモノニ枚接二寸五分ノモノ一枚接續)

納入報告

第「何」號	「某」	年	度	「何」	郡市	「何」	町村	「何某」	納
經常(臨時)	「何々」	(款)	「何々」	(項)	「何				(目)
大	藏	省	主	管	「取	扱	應	名	
一金何程									

知書

「但何々」收入ノ目的ヲ記載ス
 右(何)年(何)月(何)日限リ收入官吏官氏名又ハ(何々)金庫ヘ納付スヘシ
 明治「何」年「何」月「何」日
 納入告知書發行者官氏名



領收證書

第「何」號	「某」	年	度	「何」	郡市	「何」	町村	「何某」	納
「取	扱	應	名						
一金何程 <small>取扱主 之印</small> <small>金庫</small>									
「但何々」 右領收候也 明治「何」年「何」月「何」日 「收入官吏官氏名」 又「何」地「金庫」									



報 告 書
(金庫 通知 書)

第「何」號「某」年「何」度「何」郡市「何」町村「何」某「納
經常(臨時)「何」々(款)「何」々(項)「何」々(目)」大藏省主管
取 扱 廳 名

一金何程
取扱主任
之印

右領收濟ニ付報告(金庫)候也

明治「何」年「何」月「何」日

「各廳長官氏名宛」

「收入官吏官氏名宛
又「何」地金庫」

●葉煙草專賣諸收入ノ收納取扱方

明治三十年十一月一號
大藏省訓令第七十一號

「葉煙草專賣所」

「葉煙草專賣所」ニ於テ收納スル葉煙草專賣收入及諸收入ノ收納取扱方ハ「明治二十六年大藏省訓令第
四十二號」諸收入收納取扱規程ニ準據取扱フヘシ

●官吏遺族扶助法納金收入規則

明治二十三年七月
勅令第百二十五號

改正

●明治三十二年三月
勅令第六十號

●明治三十三年四月
勅令第百五十一號

朕官吏遺族扶助法納金收入規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

官吏遺族扶助法納金收入規則

- 第一條 本年法律第四十四號官吏遺族扶助法第二條ニ依リ文官判任以上ノ者ヨリ國庫ニ納ムヘキ金員ハ俸給仕拂ノトキ金庫ニ於テ之ヲ差引ヘシ但現金前渡ヲ受ケタル官吏ニ於テ俸給ノ仕拂ヲナストキハ該官吏ニ於テ之ヲ差引ヘシ
- 郡書記ノ納ムヘキ金員ハ俸給仕拂ノトキ郡役所會計吏ニ於テ之ヲ差引ヘシ
- 第二條 前條ニ依リ金庫ニ於テ差引シタル金員ハ歲入徴收官ノ計算ニ移シ直ニ報告書ヲ作り之ヲ歲入徴收官ニ送付スヘシ
- 前條ニ依リ現金前渡ヲ受ケタル官吏及郡役所會計吏ニ於テ差引シタル金員ハ納金額表ヲ添ヘ之ヲ收入官吏ニ送付スヘシ
- 第三條 俸給ノ増減ニ依リ既納ノ金員ニ過不足ヲ生スルトキハ次期ノ俸給支給ノトキ之ヲ整理スヘシ
- 免官退官轉任死亡ニヨリ過渡俸給ノ返納ヲ要スルトキハ其百分ノ一ヲ納人ニ於テ差引スヘシ

●官吏遺族扶助法納金收入規則取扱順序

明治二十三年七月
大蔵省訓令第百十三號

正改

●明治二十六年十二月
訓令第六十八號
●明治三十一年二月
訓令第八號

●明治三十一年十一月
訓令第七十四號
●明治三十二年三月
訓令第十四號

●明治三十三年四月
訓令第三十八號
●明治三十三年四月
訓令第三十九號

北海道廳 府 縣
出納官吏 金庫出納役

本年勅令第百二十五號官吏遺族扶助法納金收入規則取扱順序左ノ通り心得ヘシ

第一條 (削除)

第二條 金庫ニ於テ明治二十三年大蔵省令第十七號ヲ以テ規定シタル書式ノ仕拂命令仕拂請求書ヲ受ケ現金ノ仕拂ヲ執行スルトキハ該仕拂命令仕拂請求書金額ノ内譯ニ列記シタル (集合仕拂命令集合仕拂請求書中ノ者へ交付スルトキハ即) 國庫納金引去高ヲ扣除シ現金支給高ヲ受取人ニ交付スヘシ (請求ニ付屬スル金額氏名該氏名表金額ノ内譯ニ依ル) 國庫納金引去高ハ普通仕拂ノ順序ニ依リ一日之ヲ拂出シ直ニ之ヲ相當年度ノ歳入ニ振替納付ヲナスヘシ

金庫出納事務規程第十八條ノ金庫所在地外ニ債ル債主ニ仕拂ヲ要シ又ハ送金ヲナス場合ト雖モ國庫納金引去高ハ前項ノ順序ニ據ルモノトス

第三條 金庫ニ於テ前條ノ國庫納金引去高ヲ歳入金ニ振替納付シタルトキハ即日第二號書式ノ國庫納金引去高收入報告書ヲ調製シ歳入徴收官へ送付スヘシ

第四條 (削除)

第五條 歳入徴收官ニ於テ第三條ノ國庫納金引去高收入報告書ヲ受ケタルトキハ徴收簿收入濟額ノ欄内へ其金額ヲ登記スヘシ

第六條 現金前渡ヲ受ケタル官吏及郡役所會計吏ニ於テ俸給仕拂ノトキ官吏ノ納金額ヲ差引徴收シタルトキハ第三號書式ノ納金額表ヲ添ヘ之ヲ其廳ニ於テ普通ノ諸收入ヲ收入スル官吏ニ拂込ヘシ

第七條 前條ノ拂込ヲ受ケタル收入官吏ハ其拂込ヲシタル收入官吏ニ現金ノ領收證書ヲ交付シ現金出納簿ノ登記及金庫ヘ拂込ノ手續ヲナスヘシ

第八條 現金前渡ヲ受ケタル官吏ハ第六條ノ場合ニ於テハ現金ヲ領收スル收入官吏トシテ總テ其規程ニ依ルモノトス

第九條 金庫ニ於テ歳入金ニ振替未済ノ國庫納金引去高ハ毎月末ニ第四號書式ノ國庫納金引去高未済報告表ヲ調製シ歳入徴收官ヘ送付スヘシ

第一號書式 (削除)

某年度歳入國庫納金引去高收入報告表 第二號書式

所管廳	年度	命令 仕拂 請求 仕	命令 氏名 仕官	收入金額		備考
				円	角	
			明治何年何月何日	何金庫	何	
			何應歳入徴收	官官氏名		

某年度國庫			
前渡仕拂命請求令書之要			
所管應	年度仕拂命請求令書	番號	仕拂命令官氏名
[某]	[二十三年度仕拂命令]	第一號	[某]
[某]	[二十三年度集合仕拂請求書]	第二號	[某]

書面ノ通及
明治[何]年
[何廳]納金額ヲ差引徴收シ
[何廳]收入官吏

納金額表		第三號書式		
領	債主氏名	收入金額	收入取扱廳	備考
前渡官吏官氏名				
[某]	[某]	[0500]	[某]	
[某]	[某外何人]	[1000]	[某]	
	締高	[1500]		

御引繼候也
[何]月[何]日
タル收入官吏[官氏名]圖
[官氏名宛]

何年何月分某年度歳入國庫納金引去高未濟額報告表 第四號書式

所管廳	年度	命令番 號	命令番 號	命令番 號	收入未濟額	備考
			明治何年何月	何日	何金庫	
			何廳	歳入徴收官	官氏名	

●府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法納金收入規則

改正 ●明治三十二年五月勅令第九十九號

明治二十五年一月勅令第五號

朕府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法納金收入規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法納金收入規則

第一條 府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法第十六條第一項ニ依リ府縣立師範學校長ヨリ國庫ニ納ムヘキ金員ハ明治二十三年勅令第二百二十五號官吏遺族扶助料法納金收入規則ニ依リ收納スヘシ

公立中學校長並府縣立師範學校公立中學校ノ正教員舍監書記ヨリ國庫ニ納ムヘキ金員ハ俸給仕拂ノトキ會計事務ヲ管理スル府縣官吏郡役所會計吏又ハ市町村收入役ニ於テ之ヲ差引スヘシ

第二條 前條第二項ニ依リ差引シタル金員ハ會計事務ヲ管理スル府縣官吏郡役所會計吏又ハ市町村收入役ヨリ每翌月十日迄ニ仕譯書ヲ添ヘ之ヲ收入官吏ニ納付スヘシ

第三條 府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法第十六條第二項ニ依リ府縣郡市町村ヨリ國庫ニ納ムヘキ金員ハ毎年四月十日及十月十日マテニ其前六箇月分ヲ金庫ニ拂込ムヘシ

●軍事費補足ノ献金收入ノ件

明治三十三年九月
大蔵省訓令第五十九號

軍事費補足ノ趣旨ヲ以テ人民ヨリ獻金スルモノアルトキハ當省主管トシテ收入スヘシ

北海道廳 府

縣

●軍資獻納金取扱方竝ニ一般會計ノ歳入トシテ

取扱タルモノ更正方等ノ件

明治三十七年四月
大藏省訓令第十九號

北海道廳 府 縣

明治三十七年法律第二號ヲ以テ臨時事件費特別會計法制定セラレ候ニ付テハ軍資獻納金取扱方竝ニ一般會計ノ歳入トシテ取扱タルモノ更正方等左ノ通心得ヘシ

第一 軍資獻納金ハ臨時軍事費特別會計ノ歳入トシ大藏省主管トシテ明治三十三年大藏省訓令第二十

七號ニ準據シ府縣ニ於テ取扱フモノトス

第二 納入告知書中「某年度」ヲ「臨時軍事費歳入」トシ「經常(臨時)」ノ欄ヲ削ル

第三 計算報告書帳簿等一般會計ノ例ニ準シ「某年度經常(臨時)」ヲ「臨時軍事費歳入」トシ一般會計ノ歳入ト區別シ整理スヘシ

第四 歳入科目ハ軍資金ノ款軍資金ノ項ノ末位ニ軍資獻納金ノ目ヲ設置ス

第五 既ニ一般會計ノ歳入トシテ取扱タルモノハ歳入徴收官ニ於テ之ヲ特別會計ノ歳入ニ訂正シ收入濟額中金庫ニ納入濟ノモノハ之レカ訂正方ヲ金庫ニ請求スヘシ但シ金庫ニ納入未濟ノモノハ其ノ納入ノ際金庫ニ於テ之ヲ臨時軍事費歳入トシテ收入セシム

● 内務省所管諸收入収納取扱規程

明治三十三年四月
内務省訓令第七號

大臣官房庶務課 衛生局
集 治 監 土木監督署
衛生試驗所 血清藥院
痘苗製造所 傳染病研究所
海港檢疫所 [警察監獄學校]

明治二十八年内務省訓令第五百四十五號訓令諸收入収納取扱規程左ノ通改正シ明治三十三年度ヨリ施行
ス但明治二十九年殖務省訓令第三號ハ之ヲ廢止ス

諸收入収納取扱規程

- 第一條 内務省所管ノ諸收入ハ此規定ニ依リ取扱フヘシ
- 第二條 大臣官房庶務課長、衛生局長、各廳長官ハ納期日ヲ定メ各納人ニ對シ別記書式ノ納入告知書ヲ發スヘシ但納人ヲシテ收入官吏ニ即納セシムル場合ニ於テハ納入告知書ヲ發スルコトヲ要セス
- 第三條 集治監典獄ハ分監長ニ委任シテ諸收入収納事務ヲ分掌セシムルコトヲ得
- 第四條 納入告知書ハ納人ヲシテ納金ヲ納付スルトキ之ヲ添付セシムヘシ
- 第五條 大臣官房庶務課長、衛生局長、各廳長官ハ納金ヲ其納期限内ニ完納セサル者アルトキハ直チニ督促シ尙ホ完納ニ至ラサルトキハ速ニ相當ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第六條 收入官吏ハ毎月現金拂込仕譯書ヲ調製シ各所屬ノ長官ニ報告スヘシ
- 第七條 大臣官房庶務課長、衛生局長、各廳長官ハ徵收簿ニ據リ徵收報告書ヲ調製シ歲入金月計對照表ヲ添ヘ之ヲ内務省ニ差出スヘシ

第八條 大臣官房庶務課、衛生局、衛生試驗所、血清藥院、痘苗製造所、傳染病研究所、海港檢疫所、「警察監獄學校」ニ於ケル徵收官ハ徵收簿ニ據リ歳入徵收額計算書ヲ調製シ會計規則第五十二條ニ依リ之ヲ内務省ニ差出スヘシ

第九條 集治監、土木監督署ニ於ケル徵收官ハ徵收簿ニ據リ歳入徵收額計算書ヲ調製シ會計規則第五十二條ニ依リ之ヲ會計検査院ニ差出スヘシ

第十條 諸收入ノ徵收事務整理上必要ナル取扱手續及帳簿報告等ノ書式ハ適宜之ヲ定ムヘシ

(別記)

備考
領收證書及報告書(通知書)用紙ノ納入金額納入年度種類等ハ總テ納入告知書發行廳ニ於テ記入スルモノトス
用紙適宜 縦四寸五分ノモノ一枚 横四寸五分ノモノ一枚 接續

納 入 告 知 書

第「何」號「某」年度	「何」郡市「何」町村	某「納
經 常(臨時)「何」々(款)「何」々(項)「何」々(目)		
内 務 省 主 管「取 扱 廳 名」		
一金何程		
「但何々」(收入ノ目的ヲ記載ス)		
右(何)年(何)月(何)日限り收入官吏官氏名又ハ(何々)金庫へ納付スヘシ		

領 收 證 書

第「何」號「某」年度	「何」郡市「何」町村	某「納
「取 扱 廳 名」		
一金何程		
「但何々」		
右領收候也		
明治「何」年「何」月「何」日		
「收入官吏官氏名」印		
又ハ「何地金庫」印		



第「何」號「某」年 度
一何「郡市何」町村「某」納
經常(臨時)「何々(款)」「何々(項)」「何々(目)」
内務省主官
取扱應名

一金何程
取
之
印

右領收済ニ付報告(金庫ハ)候也

明治「何」年「何」月「何」日

「各廳長官氏名宛」

「收入官吏官氏名」
又ハ「何地金庫」

●陸軍省所管歳入收納取扱規程

改正

●明治三十五年三月 陸軍省令第二十九號
●明治三十六年二月 陸軍省令第四號
●明治三十六年三月 陸軍省令第十五號
●明治三十七年二月 陸軍省令第四十二號

明治二十六年陸軍省令第三十一號陸軍省所管歳入收納取扱規程左ノ通改正シ明治三十三年度ヨリ之ヲ施行ス

陸軍省所管歳入收納取扱規程

第一條 軍隊官衙學校等ニ於テ歳入ノ徵收ヲ要スルトキハ證憑書類ニ納票(陸軍省令第三條第一)ヲ附シ當該歳入徵收官ニ送付スヘシ但シ納票ヲ發スヘキ應歳入徵收官ト同廳ナルトキハ納票ハ之ヲ省略スルコトヲ得

第二條 歳入徵收官ハ前條ノ書類ヲ調査シ適當ト認ムルトキハ十五日以内(作樂會計ノ收入ニ係ルモノハ二十日以内)ニ於テ納期日ヲ定メ適宜ノ金庫(作樂會計ノ收入ニ係ルモノハ當該作樂所ノ仕拂元受金ニ紐換ヘ得ル金庫)ヲ指定シ納入ニ對シ納入告知書(陸軍省令第二條第二)ヲ發シ納入ノ際之ヲ添付セシムヘシ但シ納入ヲシテ收入官吏ニ即納セシムル場合ニ於テハ納入告知書ヲ發スルコトヲ要セス

軍隊官衙學校等ニ於テ作樂會計ニ屬スル歳入金ヲ納入セムトスルトキハ證憑書類ニ納入告知書ヲ添ヘ當該仕拂命令官ニ送付シ仕拂命令官ハ作業所歳入徵收官ニ宛テタル仕拂命令ヲ發行シ納入告知書ト共ニ指定ヲ受ケタル金庫ニ送付スヘシ但シ指定金庫區域外ニ在ル仕拂命令官ニ在リテハ納入告知書ニ仕拂命令通知書ヲ添ヘ作業所歳入徵收官ニ送付スヘシ

指定金庫區域外ニ在ル者ヨリ納入スヘキ作樂會計ノ歳入金ニシテ軍隊官衙學校等ノ前渡金ヲ以テ納入シ若ハ個人ヨリ納入スルモノニ在リテハ指定ノ金庫ニ對スル振替納金請求書ニ現金ヲ添ヘ適宜ノ金庫ニ差出シ其ノ振替證書ヲ得テ納入告知書ト共ニ指定ノ金庫ニ納入スヘシ

第三條 歳入徵收官ハ納金ヲ其ノ納期限内ニ完納セサルモノアルトキハ直ニ督促ノ手續ヲ爲シ尙ホ完

第八條 大臣官房庶務課、衛生局、衛生試驗所、血清藥院、痘苗製造所、傳染病研究所、海港檢疫所、「警察監獄學校」ニ於ケル徵收官ハ徵收簿ニ據リ歳入徵收額計算書ヲ調製シ會計規則第五十二條ニ依リ之ヲ内務省ニ差出スヘシ

第九條 集治監、土木監督署ニ於ケル徵收官ハ徵收簿ニ據リ歳入徵收額計算書ヲ調製シ會計規則第五十二條ニ依リ之ヲ會計検査院ニ差出スヘシ

第十條 諸收入ノ徵收事務整理上必要ナル取扱手續及帳簿報告等ノ書式ハ適宜之ヲ定ムヘシ

(別記)

備考 領收證書及報告書(通知書)川紙ノ納入金額納入年度種類等ハ總テ納入告知書發行簿ニ於テ記入スルベトス
用紙適宜 縦四寸五分ノモノ二枚 横四寸五分ノモノ一枚 接續

納 入 告 知 書

第「何」號「某」年度	「何」郡市「何」町村	某「納」
經常(臨時)「何」々(款)「何」々(項)「何」々(目)	内務省 主管「取扱」應「名」	
一金何程		
「但何々」(收入ノ目的ヲ記載ス)		
右(何)年(何)月(何)日限り收入官吏官氏名又ハ(何々)金庫(納付スヘシ)		

明治「何」年「何」月「何」日

納入告知書發行者 官氏名 ㊟

金庫 割印

第「何」號「某」年度

「何」郡市「何」町村

某「納」

「取扱」應「名」

一金何程

金庫 取扱之印

「但何々」

右領收候也

明治「何」年「何」月「何」日

「收入官吏官氏名」㊟

又ハ「何地金庫」㊟

金庫 割印

領 收 證 書

第「何」號「某」年「度」	「何」郡市「何」町村「某」納
經常(臨時)「何々」(款)「何々」(項)「何々」(目)	內務省主管 取扱廳名
一金何程	取振去在之印
右領收濟ニ付報告(金庫ハ通知書)候也	
明治「何」年「何」月「何」日	「收入官吏官氏名」 又ハ「何地金庫」 印
	「各廳長官氏名宛」

●陸軍省所管歳入收納取扱規程 明治三十三年四月 陸軍省達第四十二號

改正 ●明治三十五年三月 陸軍省達第二十九號 ●明治三十六年二月 陸軍省達第四號 ●明治三十七年二月 陸軍省達第十五號 ●明治三十二年三月 陸軍省達第四十二號

明治二十六年陸軍省所管歳入收納取扱規程左ノ通改正シ明治三十二年ヨリ之ヲ施行ス

陸軍省所管歳入收納取扱規程

- 第一條 軍隊官衙學校等ニ於テ歳入ノ徵收ヲ要スルトキハ證據書類ニ納票(陸軍省達規程第三條第一)ヲ附シ當該歳入徵收官ニ送付スヘシ但シ納票ヲ發スヘキ應歳入徵收官ト同廳ナルトキハ納票ハ之ヲ省略スルコトヲ得
- 第二條 歳入徵收官ハ前條ノ書類ヲ調査シ適當ト認ムルトキハ十五日以内(作業會計ノ收入ニ係ルモノハ二十日以内)ニ於テ納期日ヲ定メ適宜ノ金庫(作業會計ノ收入ニ係ルモノハ當該作業所ノ仕拂充入金ニ組換ヘ得ル金庫)ヲ指定シ納人ニ對シ納入告知書(陸軍省達規程第二條第二)ヲ發シ納金ノ際之ヲ添付セシムヘシ但シ納人ヲシテ收入官吏ニ即納セシムル場合ニ於テハ納入告知書ヲ發スルコトヲ要セス
- 軍隊官衙學校等ニ於テ作業會計ニ屬スル歳入金ヲ納入セムトスルトキハ證據書類ニ納入告知書ヲ添ヘ當該仕拂命令官ニ送付シ仕拂命令官ハ作業所歳入徵收官ニ宛テタル仕拂命令ヲ發行シ納入告知書ト共ニ指定ヲ受ケタル金庫ニ送付スヘシ但シ指定金庫區域外ニ在ル仕拂命令官ニ在リテハ納入告知書ニ仕拂命令通知書ヲ添ヘ作業所歳入徵收官ニ送付スヘシ
- 指定金庫區域外ニ在ル者ヨリ納入スヘキ作業會計ノ歳入金ニシテ軍隊官衙學校等ノ前渡金ヲ以テ納入シ若ハ個人ヨリ納入スルモノニ在リテハ指定ノ金庫ニ對スル振替納金請求書ニ現金ヲ添ヘ適宜ノ金庫ニ差出シ其ノ振替證書ヲ得テ納入告知書ト共ニ指定ノ金庫ニ納入スヘシ
- 第三條 歳入徵收官ハ納金ヲ其ノ納期限内ニ完納セサルモノアルトキハ直ニ督促ノ手續ヲ爲シ尙ホ完